

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜松大平台高等学校

目 次

□□□□□	事 務 事 業 の 概 要	・ ・ ・ ・ ・	1
□□□□□	事 務 執 行 の 根 拠 法 令 調	・ ・ ・ ・ ・	29
□□□□□	学 校 施 設 の 概 要	・ ・ ・ ・ ・	30
□□□□□	在 籍 生 徒 調	・ ・ ・ ・ ・	32
□□□□□	入 学 志 願 者 及 び 入 学 者 数 調	・ ・ ・ ・ ・	34
□□□□□	卒 業 生 の 動 向 調	・ ・ ・ ・ ・	36
□□□□□	生 徒 の 状 況	・ ・ ・ ・ ・	39
□□□□□	県 入 収 証 紙 に よ り 徴 収 し た 使 用 料 及 び 手 数 料 調	・ ・ ・ ・ ・	41
□□□□□	授 業 料 収 納 状 況 調	・ ・ ・ ・ ・	42
□□□□□	預 金 調	・ ・ ・ ・ ・	47
□□□□□	郵 券 等 受 払 調	・ ・ ・ ・ ・	47
□□□□□	材 料 品 受 払 調	・ ・ ・ ・ ・	48
□□□□□	委 託 料 等 歳 出 予 算 執 行 状 況 節 別 集 計 表	・ ・ ・ ・ ・	49
□□□□□	委 託 料 等 歳 出 予 算 執 行 状 況 節 別 集 計 表	・ ・ ・ ・ ・	49
□□□□□	委 託 料 に 関 す る 調	・ ・ ・ ・ ・	50
□□□□□	補 助 金 支 出 調	・ ・ ・ ・ ・	52
□□□□□	負 担 金 支 出 調	・ ・ ・ ・ ・	54
□□□□□	公 有 財 産 調	・ ・ ・ ・ ・	55
□□□□□	借 地 借 家 等 調	・ ・ ・ ・ ・	56
□□□□□	行 政 財 産 貸 付 ・ 使 用 許 可 調	・ ・ ・ ・ ・	56
□□□□□	主 要 備 品 調	・ ・ ・ ・ ・	57
□□□□□	生 産 物 受 払 調	・ ・ ・ ・ ・	58
□□□□□	職 員 調	・ ・ ・ ・ ・	63
□□□□□	職 員 の 年 齢 調	・ ・ ・ ・ ・	69
□□□□□	健 康 管 理	・ ・ ・ ・ ・	70

□□□□□□

事 務 事 業 の 概 要

1 概況

(1) 学校の沿革

ア 本校の前史

(ア) 静岡県立農業経営高等学校

明治30年7月7日	浜名郡会において設立の件を議決
明治30年11月15日	文部大臣より設立及び校則認可、静岡県浜名郡蚕業学校と称し、修業年限本科2年、別科6か月と制定
大正8年4月1日	県立に移管、静岡県立蚕業学校と改称
昭和9年6月1日	静岡県立浜松農蚕学校と改称
昭和23年4月1日	静岡県立浜松農業高等学校と改称、農業課程と蚕業課程を設置
昭和32年4月1日	静岡県立浜松農工高等学校と改称、工業課程機械科を併置
昭和39年4月1日	静岡県立農業経営高等学校と改称、農業経営科を設置
平成18年3月31日	静岡県立浜松城南高等学校との再編整備により閉校

(イ) 静岡県立浜松城南高等学校

昭和40年4月1日	昼間二部定時制の課程(女子普通科)を静岡県立浜松城北工業高等学校に併設
昭和43年4月1日	静岡県立浜松城南高等学校と命名、県下唯一の独立定時制高等学校として旧浜松市立東部中学校飯田教場跡に開校
平成18年3月31日	静岡県立農業経営高等学校との再編整備により閉校

イ 本校の設立経緯

平成8年	新構想高校検討委員会を設置
平成9年3月	社団法人文教施設協会から提出された「平成8年度新構想高等学校基礎調査等報告書」に西部地区新構想高等学校(仮称)の概要が明示
平成12年2月23日	「静岡県立高等学校長期計画」公表
平成15年5月2日	県の事業で初、高等学校では全国初のPFI手法導入を決定
平成16年6月8日	西遠地区新構想高等学校(仮称)設立準備委員会を設置
平成17年3月18日	静岡県立高等学校設置条例の一部改正、名称「静岡県立浜松大平台高等学校」に決定
平成17年4月1日	静岡県立浜松大平台高等学校設立準備委員会を設置

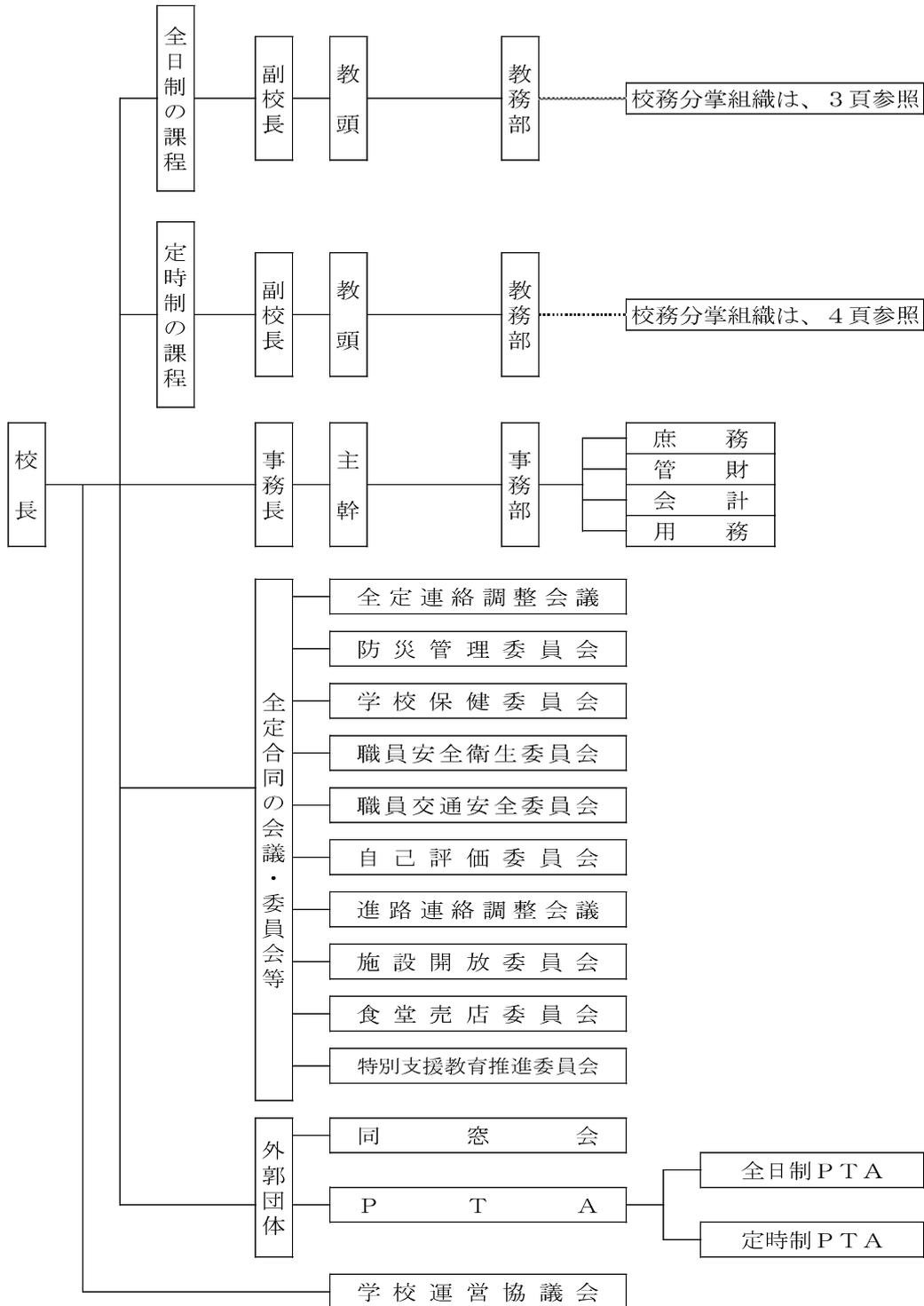
ウ 本校の沿革

平成18年4月1日	静岡県立浜松大平台高等学校開校
	単位制による全日制の課程総合学科及び単位制による定時制の課程普通科を設置
	全日制の課程総合学科生徒定員 160人
	定時制の課程普通科生徒定員 200人
平成18年4月10日	静岡県立浜松大平台高等学校開校記念式典を挙げる
平成19年4月1日	全日制の課程総合学科生徒定員 320人
	定時制の課程普通科生徒定員 400人
平成20年4月1日	全日制の課程総合学科生徒定員 480人
	定時制の課程普通科生徒定員 600人
平成21年4月1日	全日制の課程総合学科生徒定員 480人
	定時制の課程普通科生徒定員 800人
令和6年4月1日	全日制の課程総合学科生徒定員 480人
	定時制の課程普通科生徒定員 760人

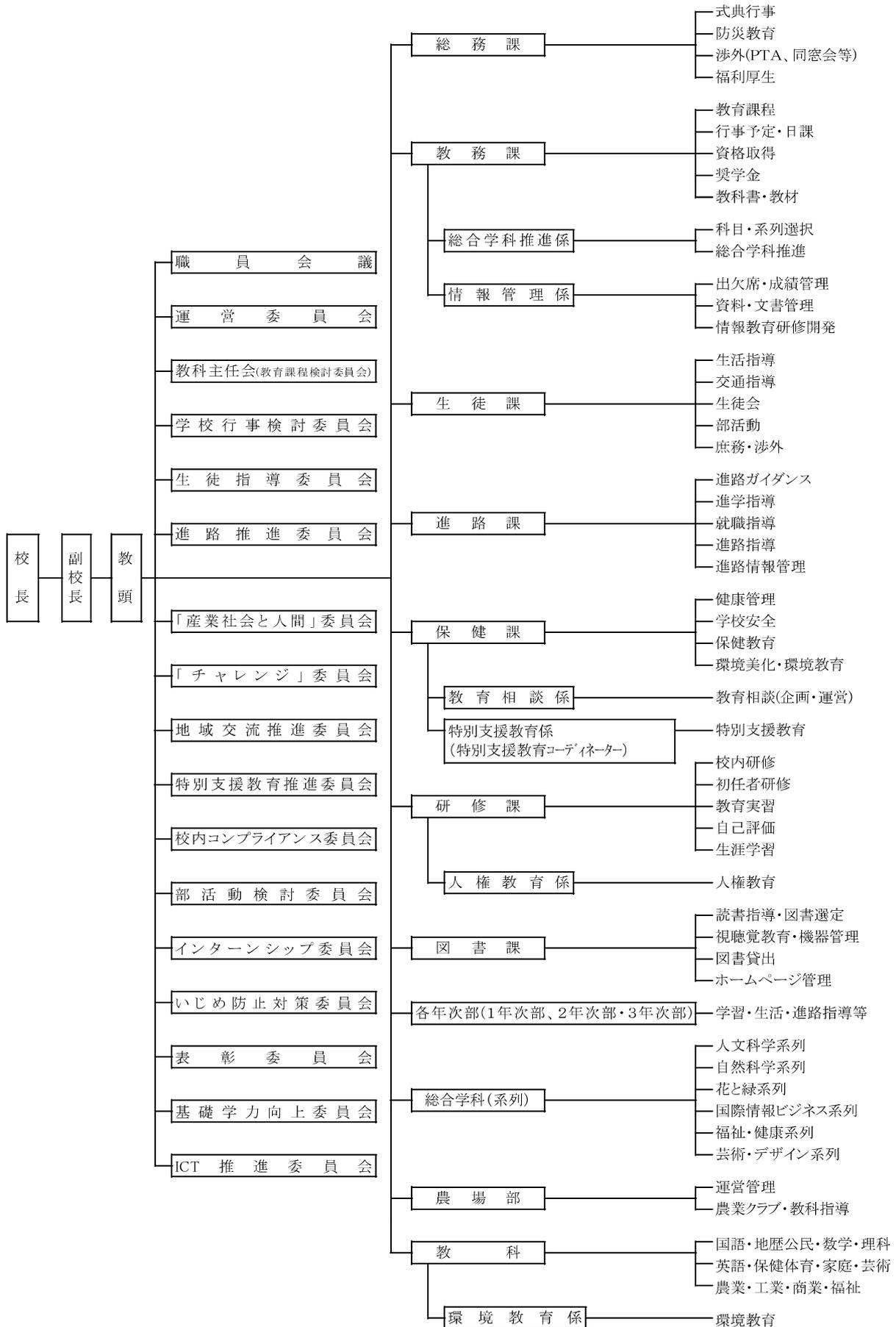
令和7年4月1日

全日制の課程総合学科生徒定員 480人
定時制の課程普通科生徒定員 720人

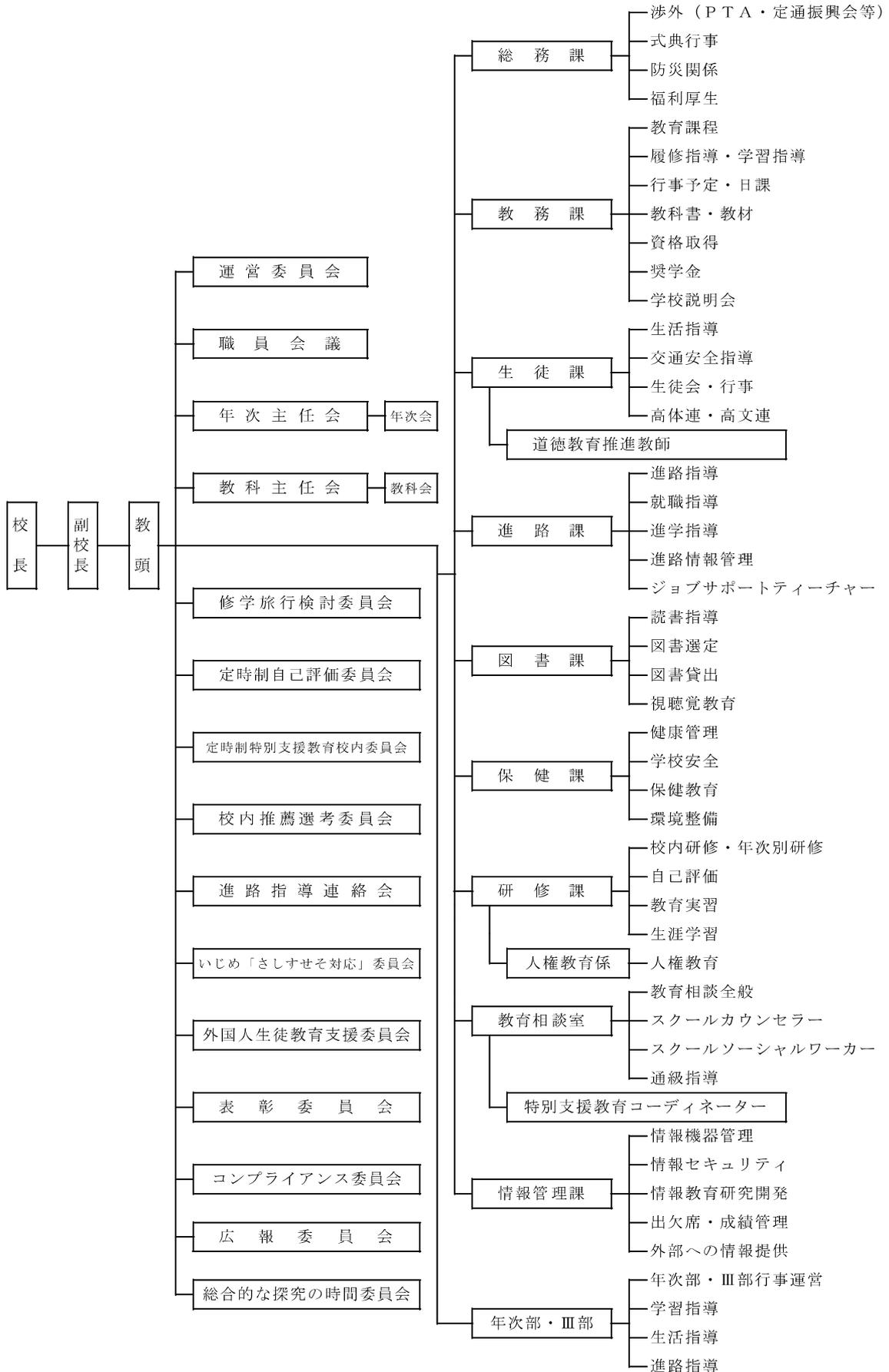
(2) 組織図



(全日制校務分掌)



(定時制校務分掌)



2 目指す学校像

(1) 全日制の課程

ア スクール・ミッション

校訓「未来を拓く」のもと、キャリア教育を推進し、多様な進路希望に対応する充実した教育環境を有する浜松地区の全日制総合学科の高校として、3年間を貫いた探究活動を柱としながら、6つの系列をはじめとする多様な学びの機会（教科・科目）を自ら選択し、教科横断的な視点・学力を獲得できる総合学科の強みを生かした教育を通して、コミュニケーション能力、様々な視野・感受する力、デザイン思考力等を身につけ、地域のリーダーとして、地域社会を支え、国内外で活躍できる人材の育成を目指す。

イ スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～</p> <p>(1) キャリアデザイン力（将来を見据えた進路決定力）</p> <p>(2) 基礎学力（基礎力と専門性を兼ね備えた確かな学力）</p> <p>(3) 言語力（読む・書く・話すための言語力）</p> <p>(4) コミュニケーション能力（他者と協働・共生できるコミュニケーション能力）</p> <p>(5) 広い視野と感受する力（ローカルからグローバルまで広い視野で物事を感じ取る能力）</p> <p>(6) デザイン思考力（自らの課題と解決方法を主体的に模索するデザイン思考力）</p> <p>(7) 心身の健康（生涯を通じて健全な生活を送るための心身の健康を保持する力）</p>	<p>～本校ではこのような学びを行います～</p> <p>(1) 産業社会と人間（1年次）で自らの進路について考える力を養い、総合的な探究の時間、課題研究等（2，3年次）を基軸に課題設定・課題解決力を高める探究活動に取り組みます。</p> <p>(2) 人文科学、自然科学、花と緑（農業・食品）、芸術デザイン（芸術・工業）、国際情報ビジネス（商業）、福祉健康（福祉、家庭、スポーツ）の6系列を設置し、主体的な選択のもと、幅広い学びの実現に取り組みます。</p> <p>(3) 進学から就職まで多様な進路選択の機会とともに、地域連携、外部人材の活用等、実践的な学びを取り入れ、社会人として求められる素養の定着を目指した教育活動に取り組みます。</p>	<p>～本校ではこのような生徒を求めています～</p> <p>(1) 総合学科の多様な学びの可能性を理解し、夢を持って未来を切り拓こうとする生徒</p> <p>(2) 生活習慣が確立し、中学校での学びを基礎とし、充実した学校生活を送る意欲がある生徒</p> <p>(3) 他者と共生し、相互に尊重しながら、協働して物事に取り組もうとする生徒</p>

ウ スクール・ポリシー具現化の柱

- (ア) キャリア教育を根幹とし、3年間を通じた進路指導の充実を図る。
- (イ) 総合学科の強みを生かした授業改善と、教科横断的な学力の獲得に努める。
- (ウ) 読書やNIEの活用を通じて、生徒の言語能力の充実を図る。
- (エ) 教育活動の中でプレゼンの機会を多く設け、知識の出し入れを頻繁に行うようにする。
- (オ) 地域との連携を深め、生徒・保護者・地域の人々に信頼される学校づくりに努める。
- (カ) 部活動や特別活動の充実に努め、たくましさや豊かな心を培う。
- (キ) 安全・安心で心地よい教育環境を確保する。
- (ク) 学校事務の適正な執行に努めるとともに、業務改善を行うことで、職員の多忙化を解消する。

(2) 定時制の課程

ア スクール・ミッション

校訓「未来を拓く」のもと、学習歴など多様な生徒が学ぶ県西部地区唯一の定時制単位制普通科として、自分の生活ペースや学習ペースに合わせた3つの学習時間帯や多様な進路希望に応じた授業科目が選択でき、新しい自分の発見やチャレンジできる「いつでも・だれでも・いろいろ」学べる充実した教育環境を通して、基本的な生活習慣を確立し、共生できる人材、新しい自分と出会い、未来を拓いていくことのできる人材、自主的に学び、考えを他者に伝えることができる人材、自分の将来や他者との関わりについて適切に判断し、行動できる人材の育成を目指す。

イ スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
卒業までに育成を目指す資格・能力に関する方針 (1) 自主的に学び、考えを他者に伝えることができる生徒（学習指導） (2) 自分の将来に関心を持ち、考えて行動できる生徒（進路指導） (3) 他者との関わりについて、適切に判断し、行動できる生徒（生徒指導） (4) 基本的な生活習慣を確立し、共生できる生徒（生活指導）	教育課程の編成・実施に関する方針 (1) 一人一人に合わせた学習を可能とする本校の特色を最大限に活かし、生徒が学ぶスピードに寄り添い、卒業時期を3年もしくは4年と選択可能とする。 (2) 基礎学力の定着を図るとともに個々に応じたきめ細かい学習計画を立て、学習指導を行う。 (3) 自らの将来について真剣に考えさせ、他機関とともに連携しながら個々に応じた進路指導を充実させる。 (4) 単位制の特徴を活かし、進級につれて多様な選択科目を設定し、自由に選択履修できる中で、個に適した学びを実現する。 (5) 生徒の特性や進路を考慮し、実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ、地域や社会の発展を担うために必要な資質・能力を育成する。	入学者受け入れに関する方針 (1) 朝・昼・夜間の三部制、単位制など多様な学習形態に対応できる定時制課程の特色を活かして学習を進めたい生徒 (2) 自分の将来の夢や目標の実現に向けて、本校で学ぶ明確な意志を持つ生徒 (3) 互いの違いや特性を認め、他人を受け入れ、思いやれる生徒 (4) 基本的な生活習慣を確立するために、ルールやマナーを守り、自他の人格を尊重しようとする誠実な生徒

ウ スクール・ポリシー具現化の柱

- (ア) 新学習指導要領も踏まえ、多様な進路希望に応じた学習指導や進路指導に努める。
- (イ) 高校生としての本分をわきまえ、社会の一員として行動できる姿勢を育成する。
- (ウ) 教育相談や特別支援教育を推進する。
- (エ) 自分の考えを持ち、表現できるような言語活動の充実に努める。
- (オ) 安全・安心で心地よい教育環境を確保する。
- (カ) 単位制による教育の課題解決を図るとともに、単位制の魅力を積極的に広報する。
- (キ) 生徒・保護者や地域との連携強化に努め、信頼される学校づくりを目指す。
- (ク) 学校事務の適正な執行に努めるとともに、業務改善を行うことで職員の多忙化を軽減させる。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

- 評価基準
- A = 十分成果をあげた
 - B = 成果をあげつつある
 - C = あまり成果があがっていない
 - D = 成果があがっていない

ア 全日制課程

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	「将来に対する夢や希望を持っている」 70%以上 R5:75%、R4:72% R3:77%、R2:78%	進路ガイダンスや模擬試験を活用して、自分の学力を理解し、自己の進路について考えることができた。 70%	A	科目選択を通して、自分の進路についてよく考えるようになった。 産業と社会の授業では、どのような進路を描きたいか、どんな大人でいたいかなど、子どもたちの素直な思いを引き出すことができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					<p>常葉大学・マイナビ・ライセンスアカデミー・キッズコーポレーションなどに協力していただき、外部講師による進路指導、講演を行った結果、自発的に進路に向かう生徒が多く見られた。</p> <p>オープンキャンパスや学校説明会へ参加する生徒が多くいた。まだ、進路希望が未定な生徒も一定数いる。</p> <p>進路ガイダンス等を通して、生徒は進学や就職等、進路希望を具体的に考えることができた。</p>
		<p>各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。</p>	<p>Future しずおか（外部講師）や進路別ガイダンス等を通して、より深く理解をする姿が見られた。</p>	A	<p>系列を繋ぐ探究の連携活動ができた。</p> <p>複数の地元企業の協力を得て「地域で活躍できる人材の育成」に繋げた。</p> <p>地域の専門学校から講師を招き、専門的な授業が展開できた。（芸術科）</p> <p>1人1テーマで実験を計画・実施し、生徒の進路や興味に合わせた学習を行えた。</p> <p>Future しずおかでは職業人から生の声を聞くことができた。</p>
		<p>「自分にはよいところがある」80%以上 R5:82%、R4:81% R3:83%、R2:79%</p> <p>「ボランティア活動をしたことがある」20%以上 R5:35%、R4:29% R3:42%、R2:46%</p>	<p>「自分にはよいところがある」82%</p> <p>「ボランティア活動等には進んで参加をしている」33%</p>	A	<p>農業クラブ活動で、多くの生徒が県大会入賞を果たした。</p> <p>150人程度の参加となる。ボランティア部員が21人ということを見ると、評価できる。</p>
		<p>「自分の希望する進路が実現できた」（3年次生のみ）80%以上 R5:92% R4:88%</p>	<p>進学補講や模擬試験、面接指導などを通して、進路実現の手助けを行った。</p> <p>「自分の希望する進路が実現できた」（3年次生のみ）93%</p>	A	<p>ほとんどの生徒が自分の希望する進路先を決定することができた。（1月15日現在 未決定者8人）</p> <p>生徒は積極的に面接指導を受け進路実現に対して真剣に取り組んだ。</p> <p>12月末現在、例年通りの割合で、生徒の進路は実現できている。</p> <p>面接指導や小論文指導を積極的に行い、こどもたちの進路実現に貢献することができた。</p>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。	到達度テスト正答率 60%以上 R5: 1年 63% 2年 63% 3年 62% R4: 1年 55% 2年 54% 3年 54% R3: 1年 54% 2年 54% 3年 61% 「授業がわかる」70%以上 R5:80%、R4:86% R3:86%、R2:86%	到達度テスト 3教科正答率 1年次 55.2% 2年次 56.2% 3年次進学 39.9% その他 65.1% 「授業がわかる」88%	A	到達度テスト国語は全年次正解率 60%以上の目標値は達成できた。 単元ごとに小テストを実施し、学習内容の振り返りを単元ごとに図った。また、獲得した知識を基に、単元ごとの振り返りシートを作成し、学習記録をポートフォリオ化して学びなおせる仕組みを構築した。
ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書をとおして、読書に親しんだ70%以上 「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行(サインページで周知した)	朝読書で読んだ本の数年間5冊以上の生徒 27% 「図書委員・先生方のおすすめの本」を発行(サインページ表示)	B	担任の指導により、毎朝落ち着いた雰囲気の中で読書に取り組むことができた。本の頁数によるが、できればもう少し多くの本を読んでもらえるようにしたい。
エ	授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。	「他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができた」60%以上 R5:86%、R4:87% R3:88%、R2:85%	「産業社会と人間」の授業(探究学習)、修学旅行での、平和学習、防災学習)を実施した。 「他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができた」86%	A	ペアワークやグループワークを授業内で積極的に実践し、他社の意見を踏まえて多面的・多角的な視点から問いを考察する力を身につけさせることができた。 授業の中でパネルディスカッションやSWOT分析を用いた言語活動を多く実施した。 どの科目においても、発表や相互鑑賞を取り入れることができた。(芸術科) 対話により、考えを深める授業展開は少なかった。
		「自分の考えをわかりやすく伝えることができるように努力した」80%以上	「自分の考えをわかりやすく伝えることができるように努力した」70%	A	ペアワークやグループワークを授業内で積極的に実践し、授業内において学習内容を他の生徒に説明させる機会を設けることで、知識の定着を試みた。 課題研究において、自分の研究をわかりやすく発表することができた。 外部のコンテストに2つ参加をし、試行錯誤しながら「伝える力」を育成した。 チャレンジや探究において、プレゼンテーションの知識と技術を高められた。(芸術科) プレゼンテーションによる発表

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					を含めた授業を多く展開した。
オ	保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。	HPへの地域貢献活動の掲載、更新、掲載記事45件	HPは、学校行事、生徒の活躍、時期的なトピックス等、幅広く記事の提供を行った。	A	新HPを契機にInstagramを開設した。運営方法について、今後、検討をしていく。新聞掲載、SNS、イベント参加、学会発表を通して農業科の教育活動を発信することができた。
		P T A広報誌「桑の木だより」の年2回発行、内容の充実(R5・R4・R3 R2:年2回発行)	予定どおり、年2回発行できた。	A	P T Aの登校指導や、校外指導で地域との連携や情報交換を行った。HPでP T Aの活動を積極的に発信した。桑の木だよりを発行した。
		オープンスクール、文化祭への来訪者の増加 R5:体験入学606人、オープンスクール166人、猿投祭927人	体験入学760人 オープンスクール225人 猿投祭1,015人	B	多くの中学生等に本校の特徴を伝えることができた。
		「信頼できる先生がいる」70%以上 R5:75%、R4:76%、R3:74%、R2:74% 「わが子をこの学校に入れてよかった」95%以上 R5:92%、R4:95% R3:92%、R2:90%	「信頼できる先生がいる」80% 「わが子をこの学校に入れてよかった」93%	A	担任が窓口となり、進路相談や学校生活への相談を受け、その都度対応することができた。その際、保護者が担任への信頼を強く感じている様子が見えた。
		近所の人や知り合いの人に挨拶している90%以上 R5:93%、R4:91% R3:92%、R2:91%	近所の人や知り合いの人に挨拶している91%	B	毎朝の登校指導を通じて挨拶の励行を行った。
カ	個性の伸長をはかり、自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	「学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた」80%以上 R5:93%、R4:89% R3:93%、R2:90%	学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた94%	B	「生徒課だより」を5回発行し、集団においてルールを守る意義について様々な角度から問いかけた。最高学年としての部活動や委員会活動、学校行事の取り組む姿勢についてその都度伝えた。生徒は、それを汲み取り充実した活動を行うことができた。
		「部活動は活発で充実した活動を行っている」80%以上 R5:86%、R4:84% R3:82%、R2:80%	部活動は活発で充実した活動を行っている86%	A	大会で顕著な成績を残すことができた。(美術工芸部)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見 歯科及び視力 治療率 80%以上 R5 歯 80%・視 82% R4 歯 85%・視 75% R3 歯 83%・視 93% R2 歯 73%・視 94%	いじめに関連したアンケートを実施、SNSの正しい利用についての講演会等を実施、人権教育の実施 歯科及視力治療率 歯科 34.3% 視力 35.2%	B	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見に努めた。 スマホ依存防止のためのプログラム(保護者も参加)・生徒対象の人権教育を継続中 歯科・視力治療完了率が今年度の目標を下回ったのは、家庭の事情を考慮し強く推し進めることが難しかったため。
		体験型避難訓練の実施(R5 実施) (R4・R3・R2 未実施) 災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施(R5・R4・R3・R2・R1 実施)	体験型防災訓練の実施 煙道訓練、消火訓練、AED・人工呼吸、予定どおり実施	A	年間に3回の校内防災訓練を実施し、防災・減災の能力を高めた。 今年度は、防災トイレの設置に取り組んだ。
		安全点検を年2回以上実施(R5・R4・R3・R2 2回実施) スピーディな修繕により事故ゼロ (R5・R4・R3・R2 事故0件)	怠りなく実施	B	経年劣化による故障等が多く見られるが、施設・設備の不具合が発生した際には速やかに現場確認し、PFI事業者と連携して計画的に修繕できた。
ク	教育活動が行われるための環境を整えるとともに、業務改善により職員の多忙化を解消する。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。 節約した予算を教育活動に振り分ける。	長期化する物価高騰等の影響により厳しい学校経営予算の中、事業執行の際は、常に内容の精査や見直しを行い、教員と連携して限りある予算の執行に取り組んだ。なお、新たな空調機器の設置により基本料金となる最大需要電力、電気使用量とも前年度より上回った。	B	電気料を始めとする長期化する物価高騰等により、先行きが見えにくい中で学校運営が行われてきた。来年度も引き続きメリハリのある予算執行が求められるため、生徒・教職員への呼びかけ、協力が不可欠である。
		定時退勤日(毎週水曜日)の設定 部活動の週1日以上 の休日設定 ペーパーレスに取り組む	定時退勤の呼びかけ、部活動の休養日の設定推奨などを実施した。	B	体育館部活動の使用時間調整等があるため、全員が同歩調で実施できない状況にある。 ペーパーレスへの取り組みは、順調である。

イ 定時制課程

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<p>学習指導法の改善に取り組み、学力の充実を図る。</p>	<p>授業アンケートで「授業がわかる」率、「授業が楽しい、充実している」と感じる率を80%以上とする。 基礎学力試験・適性検査を授業改善に生かしたと答える教員100%。 研究授業を相互に参観する。(1人2回以上)</p>	<p>授業アンケートで「授業がわかる」率91.4%、「授業が楽しい、充実している」率86.0%であった。 基礎学力試験を習熟度別クラス編成や授業改善に生かした。 生徒の理解度の向上に繋がるような授業プリントづくりを行うことができた。 研究授業月間を延長し、授業を相互参観することができた。</p>	A	<p>「中学校よりわかりやすい」、「こんなに点数が取れたのは初めて」と肯定的な声が多かった。 必履修科目では、苦手な生徒も充実感を持って日々の授業を大切にし、選択科目では、得意なことをより深く学び、知的好奇心を持つことができた。好奇心が刺激される教材の開発が重要である。 ネットワーク環境を整え、どの教室でも1人1台端末を使えるようにする。生徒の理解度・充実度を高めるために、教員の説明だけでなく、生徒自身が自主的に考え取り組むことで理解度を高める授業の仕組みの検討が必要である。 適性検査の結果を生かすためにも、担任や年次との情報共有を密にする。</p>
	<p>望ましい勤労観を育成し、主体的に進路の実現に向かって努力できるようにする。</p>	<p>進路だよりを定期的に(年9回)発行する。 進路意識向上のために効果的な進路行事を企画する。</p>	<p>進路行事を予定通り行うことができた。 求人票の電子化の継続を推進していく。</p>	A	<p>C-learning を活用した情報発信をさらに活発に行う。</p>
イ	<p>基本的な生活習慣を確立させるとともに、社会におけるルールやマナーを理解させる。</p>	<p>オープンキャンパスや職場見学に参加するなど、自らの進路決定に積極的に行動する生徒を増加させる。</p>	<p>進路決定がされている生徒については、オープンキャンパスや職場見学を通じて意識を向上させることができた。</p>	A	<p>職業講話等が充実したものとなるように今後も外部との連携を継続し、個々に対応できるようにする。 就職、進学ともに生徒は知らないことが多いため、知る機会を増やし、早期から進路調べや、自分の興味関心の見極めなどを行えるように援助する必要がある。 進路未定の生徒がまだまだ多く存在するので、多角的なアプローチを行い、より多くの生徒がオープンキャンパス、職場見学に参加できるように、サポートする。</p>
		<p>遅刻に対する共通理解のもと、学校全体で遅刻指導をし、基本的な生活習慣の改善を図る。</p>	<p>多くの先生方の尽力により、遅刻に対する共通理解ができ、遅刻や怠業する者は減っている。</p>	B	<p>年次、分掌が協力することで遅刻指導の意識は高まっているので、どの教員も遅刻指導を円滑に行えるよう、日課表を再編する必要があると考える。遅刻・</p>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			る。 遅刻カード記入が 定着している。		早退だけでなく、中抜けについても検討が必要である。また、10分以上の遅刻や履修不認定になっているから怠業するという生徒に対して、学校としてどのような指導を行うか検討が必要である。
		授業や行事などあらゆる機会を通じて指導する。 ネットトラブルの重大性を認識させ、未然に防ぐ。	学年集会やSHR等でSNSなどのネットトラブルについて何度も伝えた。 授業中のスマホ、歩きスマホなどマナー違反が多いのが現状である。	B	授業や行事などあらゆる機会を通じて指導することができたので、次年度も引き続き学校全体で指導していく。 生徒の意識は一時的なため、警察や携帯会社と連携し、防止講座等を行い、規範意識を高める。
		部活動入部率25%以上を目指す。 部員が満足と感じる率を70%以上とする。	部活動入部は17.6%であった。 満足と感じる率は72%であった。	B	部活動に加入している生徒は活動に満足している。しかし、加入率は年々減少している。 部活動紹介の方法を工夫し、部活動へ興味・関心を向ける。
		校内での挨拶を励行し、挨拶する習慣を身につけさせる。	教員の方から挨拶をすると返してくれる生徒が多い。 自分から挨拶できる生徒も出てきた。	B	教員から挨拶をすると、声かけのきっかけにもなり、生徒と円滑なコミュニケーションができた。 生徒会の生徒等による校門や校舎入口での挨拶運動等を通して、多くの生徒が自発的に挨拶できるようにしていく。
ウ	個々の生徒に応じた支援を行い、円滑に学校生活を送ることができるようにする。	SCやSSWなどの専門家、外部機関、校内関係者がチームを作り、連携して支援する。 支援を必要とする生徒についての情報共有や事例検討の会を適宜実施する。また、特別支援教育に関する校内研修を実施する。 いじめの事前防止、早期発見、対処のために、基本的な方針に基づき組織的に対応する。	年次主任を中心に年次で連携して対応し、必要に応じてSCやSSW、教員間で相談・情報を共有できている。個々の生徒に対して、専門家に相談する、外部機関と連携するなどして、適切な対応をすることができた。 特別支援に関する校内研修を計3回実施することができ、その成果や今後の課題を明確にすることができた。	B	専門家や外部機関と連携することで、生徒を医療機関や支援団体に繋げ、円滑に学校生活を送れるよう支援することができた。特別支援教育に関する研修については、課題解消のため、継続して実施していきたい。 連絡の取りづらい家庭とSSWを通してつながり、様子を知ることができた。SSWによる研修を次年度も年度当初に実施する。 不登校や特別な支援を必要とする生徒、心のケアが必要な生徒がいるため、個々に応じた対応を全職員で情報共有する必要がある。 いじめ事前防止、早期発見のためにアンケートを実施し、些細なことでも情報共有を行うことで、重大な問題に発展する前に解決することができたので、継

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					続していく。
エ	読書指導により、読書量の増大、質の向上に努める。	読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握する。生徒からのリクエストを選書に反映する。新着図書案内を発行し、読書意欲を喚起する。	読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握する。生徒からのリクエストを選書に反映する。新着図書案内を発行し読書意欲を喚起する。	B	読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握し、生徒の希望・必要に応じた図書選定・購入を行った。新着図書を中心に情報・宣伝活動を行った。
	自分の意見を表現する機会を増やす。	ワークシートへの記入やペア活動・グループ活動を行う授業を増やす。	ワークシートや振り返りシートへの記入により、表現することを促した。周りの生徒と相談させたり、授業終了時の授業アンケートで理解度や感想を記入させたりした。	A	ペア活動やグループ活動でより活発な表現活動ができるように工夫する。他人に自分の考えを説明する機会を作れないか模索する。 1人1台端末で「Classroom」の活用を図る。生徒の実態に合わせて、意見共有の場を設けていく。 授業アンケートをいかして、理解しやすい授業プリントづくりや授業進度を検討する。
オ	安全・安心に対する意識を高めるとともに、教育環境の整備に努める。	交通安全教室を実施するだけでなく、日常的に交通安全指導をする。 重大事故ゼロをめざす。また、総事故件数を前年度より減少させる。	重大事故ゼロを達成した。 法改正の周知など場面に応じて指導したが、総事故件数は微増した。 担任がチェックして自転車にTSマークを貼ることを徹底したことで、安全な自転車運転ができた。	B	警察からの注意喚起連絡をC-learning等で配信し、生徒だけではなく保護者にも交通安全についての注意喚起を行った。 不定期ではあるものの正門の前での見守り声掛けなどによって交通マナーが向上した。 事故件数が0になるよう、安全教室や乗り方体験の機会を増やしたり、授業等でも啓発したりする。春休みにTSマークの更新を呼びかける。
		健診の受診率100%を目指す。 朝食摂取調査等を実施し、関係者間で情報共有をし、有効に活用する。 保健だよりを定期的に発行する。	感染症の予防対策を行い、健診は長期欠席の生徒を除き、ほぼ受診した。 思春期セミナーの内容や感染症に関する情報などを保健だよりで伝え、生活改善を促した。	A	検診を受け、健康を維持することの大切さを自覚できるように援助する。 朝食摂取調査等を実施し、関係者間で情報共有をし、有効に活用する。 生活習慣が整っていない生徒が多いため、日頃からの声掛けを行っていく必要がある。
		危機管理マニュアルを定期的に見直す。実践的な防災訓練を実施する。	消防署と連携した防災訓練を行うことができた。1年次：消火器訓練、2年次：煙道訓練、3・4年次：AED研修。	A	次年度以降、学校主体の防災訓練カリキュラムとなるように、消防署と連携し、前年度の訓練内容を踏まえて、企画を練っていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<p>保健課の安全点検、職員安全衛生委員会の職場巡視を実施し、迅速に修繕や対応をする。</p> <p>P F I 担当者や外部の施設利用者との連絡を密にする。</p>	<p>定期点検の結果や指摘に対して事務部の協力を得ながら迅速に対応できた。</p> <p>P F I 事業による維持管理業務について、掲示板で周知した。</p>	A	<p>安全点検や職場巡視を定期的に行うとともに、施設設備を大切に使用する指導を継続していく。</p>
カ	<p>単位制による定時制の課程特有の諸制度を活用し、魅力的な学習環境を整える。</p>	<p>教育課程等を見直し、改善する。生徒個々の進路希望、興味、関心に応じた適切な履修指導を行う。</p>	<p>新課程科目を適切に配置できた。教員数や生徒数の減少などにより、思うように授業が開講できないのが心残りである。</p> <p>選択科目・習熟度別クラスにより、個々の興味・関心に合わせた授業を行った。</p> <p>理系科目を得意にする生徒が4年間で理科4分野（物理・化学・生物・地学）の授業を履修できる教育課程を整えた。</p>	B	<p>生徒の興味・関心を引くために、プロジェクターやネットワークなどの教室環境を整える。教科横断的な授業を行い、他教科にも興味を持てるような仕掛けを作りたい。特に上位科目において、授業内容や難易度を理解した上で履修選択するよう、指導することを徹底したい。</p> <p>教育課程表の見直しをする。万が一、教員定数減になった場合の時間割編成の見直しが必要である。</p> <p>履修ガイドブック以外に授業内容を紹介できる機会があるとよい。</p> <p>貸出用端末の管理やプロジェクターの再配置などを検討していく。</p> <p>個々の興味・関心に加えて、生徒の学力や進路希望に応じた履修登録指導を行うように努める。</p>
	<p>魅力的な学習環境を積極的に広報する。</p>	<p>ホームページの内容を充実させ、更新回数を増やす。</p> <p>学校説明会や個別学校見学等できめ細かな対応をする。</p>	<p>新しいHPは見やすく、更新頻度も高い。SNSを活用し、積極的な広報ができています。</p> <p>広報委員会を通じて、授業風景の記事を投稿した。</p>	A	<p>HPやInstagramの更新が一部の職員により行われており、もっと多くの職員が関われるよう周知していく必要がある。部活動顧問や授業担当者が気軽に簡単に投稿できるように検討する。</p> <p>本校の実態を広報するためにも、より多くの視点でバリエーションに富んだ広報をしたい。</p>
キ	<p>本校の教育活動に関する情報を的確に発信することで、保護者や地域からの信頼を得る。</p>	<p>「桑の木だより」を年2回発行する。</p> <p>外国にルーツを持つ保護者に対して翻訳、通訳などの配慮をして本校教育の理解を得る。</p>	<p>桑の木だより（HPでも閲覧可）の作成・配布により、学校の魅力を外部に伝えることができた。</p> <p>通訳とC-learningの翻訳機能により、外国ルーツの</p>	A	<p>桑の木だよりの作成に関して、PTAと連携をとりながら、より効率的に充実したものになるように工夫していく。</p> <p>多言語対応など、分かりやすい文書やHPにする方法を模索していきたい。言語だけでなく、文化や習慣の違いも理解できるように周知していきたい。</p>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			保護者に対して適切な通知等が可能になった。		
ク	事務部及び教務部との連携を一層強化し、充実した教育活動が行われるための環境を整える。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。節約した予算を教育活動に振り分ける。	長期化する物価高騰等の影響により厳しい学校経営予算の中、事業執行の際は、常に内容の精査や見直しを行い、教員と連携して限りある予算の執行に取り組んだ。なお、新たな空調機器の設置により基本料金となる最大需要電力、電気使用量とも前年度より上回った。	B	電気料を始めとする長期化する物価高騰等により、先行きが見えにくい中で学校運営が行われてきた。来年度も引き続きメリハリのある予算執行が求められるため、生徒・教職員への呼びかけ、協力が不可欠である。
	職員のワークライフバランスを改善する。	月間の時間外勤務80時間以上の職員をゼロにする。	年度内に時間外で月80時間を超過して勤務した職員は1人もいなかった。	A	定時退勤日の設定や定時退勤等の呼びかけをして、より一層「働き方改革」を進めるとともに、時間外勤務の改善に継続して努めていく。

(2) 令和7年度取組目標・達成方法・成果目標

ア 全日制課程

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	自己理解を深め、進路希望を早期に確立させる。	「将来に対する夢や希望を持っている」と答える生徒75%以上	進路課 教務課 生徒課 保健課 各年次 各系列
		キャリア教育に結びついた系列学習を推進する。	各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	
		自己肯定感・自己有用感を育成する。	「自分にはよいところがある」と答える生徒80%以上 「ボランティア活動をしたことがある」と答える生徒30%以上	
		自己の進路を実現させる。	「自分の希望する進路が実現できた」（3年次生のみ）と答える生徒80%以上	
イ	基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。	「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール等を活用し、学力向上のために指導方法の工夫・改善を図る。	到達度テスト正答率60%以上 「授業がわかる」と答える生徒75%以上 「高校生のための学びの基礎診断」を授業改善に生かしたと答える教員100%	教務課 研修課 各教科
ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書を確実に実践し、読書の楽しさを実感させる。	「朝読書をとおして、読書に親しんだ」と答える生徒70%以上 「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行する（サイネージで周知する）。	図書課

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。	他者の意見を聞き、自分の考えを再構築する力を養う。	「他者の意見を聞き自分の考えを深めることができた」と答える生徒 80%以上	各系列 各教科
		考えたことをわかりやすく伝える力を養う。	「自分の考えをわかりやすく伝えることができるように努力した」と答える生徒 80%以上	各系列 各教科
オ	保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。	本校の教育活動に関する情報収集・発信をする。	Instagram・HPへの地域貢献活動の掲載・更新 掲載記事 60件 PTA広報誌「桑の木だより」の年2回発行、内容の充実	図書課 総務課
		学校行事に多くの来訪者がいる。	一日体験入学、文化祭への来訪者の増加 昨年度比 10%増を目指す	教務課 生徒課 各年次
		生徒・保護者から信頼される教員、学校になる。	「信頼できる先生がいる」と答える生徒 75%以上 「わが子をこの学校に入れてよかった」と答える保護者 95%以上	
		挨拶を励行する。	「近所の人や知り合いの人に挨拶している」と答える生徒 90%以上	
カ	個性の伸長をはかり自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	集団活動を通して、責任感や協調性を育む。	「学校行事・委員会活動・部活動等をとおして責任感・協調性が育まれた」と答える生徒 85%以上	生徒課 各年次
		充実感のある部活動を推進する。	「部活動は活発で充実した活動を行っている」と答える生徒 80%以上	生徒課 部活動
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	指導・支援により心身の健康回復を図る。	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見 歯科及び視力治療率 80%以上	保健課 総務課 事務部
		防災・減災の能力を高める。	体験型避難訓練の実施 災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施	
		学校施設・設備の整備・充実を図る。	安全点検を年2回以上実施 スピーディな修繕により事故ゼロ	
ク	教育活動が行われるための環境を整えるとともに、業務改善により職員の多忙化を解消する。	光熱水費を節約する。 予算を有効に執行する。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。 節約した予算を教育活動に振り分ける。	事務部
		時差通勤の制度を活用し、時間外勤務を縮減する。	定時退勤日(毎週水曜日)の設定 部活動の週1日以上の日設定 ペーパーレスに取り組む	管理職

イ 定時制課程

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学習指導法の改善に取り組み、学力の充実を図る。	基礎学力試験・適性検査を実施し授業形態や指導方法の工夫・改善により、個に応じた指導を行	授業アンケートで「授業がわかる」率、「授業が楽しい、充実している」と感じる率を 80%以上とする。 基礎学力試験・適性検査・定期テスト・	教務課 研修課 各教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
		う。	小テストを授業改善に生かしたと答える 教員 100%。 研究授業を相互に参観する。（1人3回以上）	
	望ましい勤労観を育成し、主体的に進路の実現に向かって努力できるようにする。	タイムリーな進路情報の発信や進路行事の実施を通して進路意識を向上させる。	進路だよりを定期的に（年9回）発行する。 進路意識向上のために、外部講師等による講演会等、効果的な進路行事を企画する。	進路課
イ	基本的な生活習慣を確立させるとともに、社会におけるルールやマナーを理解させる。	進路希望を明確に設定させ、それに向かって努力できるように支援する。	進路希望調査で具体的な進路を記入できるよう進路指導を行い、オープンキャンパス・職場見学に参加する卒業年次生の割合を70%以上とする。	進路課 各年次
		遅刻指導により、規範意識の向上を図る。	遅刻に対する共通理解のもと、学校全体で遅刻指導をし、基本的な生活習慣の改善を図る。	生徒課 教務課 各年次
		スマートフォンの使い方指導を通して、マナーを理解させる。	授業や行事等あらゆる機会を通じて指導する。 ネットトラブルの重大性を認識させ、未然に防ぐ。	生徒課 各年次
		部活動を通して仲間と協力し合うことやルールを順守する精神を学ばせる。	部活動入部率20%以上を目指す。 全国大会出場部活動数を5以上、上位入賞2以上を目指す。	生徒課 部活動
		自ら進んで挨拶ができる生徒を増やす。	校内での挨拶を励行し、挨拶する習慣を身につけさせる指導を行う。	生徒課 各年次
ウ	個々の生徒に応じた支援を行い、円滑に学校生活を送ることができるようにする。	教育相談室、学級担任、年次主任等各担当者の連携を強化して、適切な支援をする。	SCやSSWなどの専門家、外部機関、校内関係者がチームを作り、連携して支援する。 支援を必要とする生徒についての情報共有や事例検討の会を年2回以上実施する。また、特別支援教育に関する校内研修を年3回実施する。 いじめの事前防止、早期発見、対処のために、基本的な方針に基づき組織的に対応する。	保健課 相談室 生徒課 各年次 各教科
エ	読書指導により、読書量の増大、質の向上に努める。	読書意欲を高めるために、生徒のニーズに応じた選書を行い、広報する。	読書アンケートを実施し生徒の読書傾向を把握する。 生徒からのリクエストを選書に反映する。 新着図書案内を毎月発行し、読書意欲を喚起する。	図書課
	自分の意見を表現する機会を増やす。	授業を中心に、あらゆる教育活動を通じて、言語活動の充実を図る。	ワークシートへの記入やペア活動・グループ活動を行う授業を増やす。	各教科
オ	安全・安心に対する意識を高めるとともに、教育環境の整備に努める。	交通法規の理解を図り、違反と事故を防ぐ。	交通安全教室を実施するだけでなく、日常的に交通安全指導をする。 重大事故ゼロを目指す。 交通ルールテストを年3回実施し、正解率70%を目指す。	生徒課 各年次

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		個々の生徒の心身の健康状態を把握し、指導に生かす。	健診の受診率 100%を目指す。 朝食摂取調査等を年 1 回実施し、関係者間での情報共有を図り、有効に活用する。 保健だよりを各期に 2 回発行する。	保健課 各年次
		防災・減災の能力を高める。	危機管理マニュアルを定期的に見直すと共に、実践的な防災訓練を実施する。	総務課
		学校施設・設備の整備・充実を図る。	保健課の安全点検、職員安全衛生委員会の職場巡視を実施し、迅速に修繕や対応をする。 P F I 担当者や外部施設利用者との連絡を密にする。	事務部 保健課
カ	単位制による定時制の課程特有の諸制度を活用し、魅力的な学習環境を整える。	新学習指導要領を念頭におき、教育課程やセメスター制度等を検討し、必要に応じて改善を図る。	教育課程等を見直し、改善する。生徒個々の進路希望、興味、関心に応じた適切な履修指導を行う。	教務課 情報課 各教科
	魅力的な学習環境を積極的に広報する。	保護者、中学校、地域に学校の魅力を積極的に広報する。	S N S ・ H P の内容を充実させ、行事ごとに更新する。 学校説明会や個別見学等できめ細かな対応をする。	
キ	本校の教育活動に関する情報を的確に発信することで、保護者や地域からの信頼を得る。	生徒・保護者には情報を的確に伝え、地域には学校の教育活動を紹介する。	「桑の木だより」を年 2 回発行する。 外国にルーツを持つ保護者に対して翻訳、通訳などの配慮をして本校教育の理解を得る。	総務課 教務課 情報課 各年次 事務部
ク	事務部及び教務部との連携を一層強化し、充実した教育活動が行われるための環境を整える。	光熱水費を節約する。 予算を有効に執行する。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。 節約した予算を教育活動に振り分ける。	事務部
	職員のワークライフバランスを改善する。	時差通勤の制度を活用し、時間外勤務を縮減する。	月間の時間外勤務 80 時間以上の職員をゼロにする。	管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

(1) 全日制課程

項目	令和6年度		令和7年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	成果及び課題
学習指導	<p>2年次の「総合的な探究の時間」から3年次の「課題研究」「探究」への継続研究（課題解決・探究活動の深化） 各系列が連携した「オール大平台」の取組</p>	<p>昨年度からの継続研究により、学習内容の深化を図った。また、3年次の個人研究では、2年次のグループ研究の深化や、新たなテーマの設定など、生徒のより主体的な取組ができた。 地域協働を目的とした取組として、黒米を用いた系列間連携（オール大平台）に取り組んだ。</p>	<p>2年次の「総合的な探究の時間」から3年次の「課題研究」「探究」への継続研究（課題解決・探究活動の深化） 各系列が連携した「オール大平台」の取組</p>	<p>昨年度からの継続研究により、学習内容の深化を図る。また、3年次の個人研究では、2年次のグループ研究の深化や、新たなテーマの設定など、生徒のより主体的な取組を支援する。 今年度も引き続き、地域協働を目的とした取組として、黒米を用いた系列間連携（オール大平台）に取り組んでいる。</p>
生徒指導	<p>駐輪場の整理、街頭指導、交通安全教室、交通安全テストなどによる交通安全意識や交通マナー向上のための継続的な取組</p>	<p>交通安全委員会を中心に警察署員と近隣の大型店舗等で自転車の安全運転を呼びかけ、自転車事故の減少（重大事故は0）を目指したが、昨年度より5件増加した。 交通マナー向上のための取組も継続実施した。</p>	<p>駐輪場の整理、街頭指導、交通安全教室、交通安全テストなどによる交通安全意識や交通マナー向上のための継続的な取組</p>	<p>交通安全委員会を中心にPTAとも連携し、交通安全を呼びかけ、自転車事故を減少（重大事故は0）させる。7月17日には、全校生徒対象に交通安全教室を行った。 交通マナー向上のための取組は、本年度も継続実施する。</p>
進路指導	<p>キャリア教育に結びついた系列学習として地域・大学・企業等と連携した活動の実施</p>	<p>地域・大学・企業などとの連携を積極的に実施し、実践的な知識・技術を習得させ、自己の進路や社会について考えることができた。 大学や企業、専門学校、商工会議所、織物組合、NPO、地元店舗、職人、福祉施設等との連携を実施した。企業とのコラボは地域の民間企業との連携によるバナナの加工品の開発、パン職人と連携したパンの製造の継続に加え県農林技術研究所より分けられた酵母菌を使い新しいパンの開発研究を行った。遠州織物組合とは浜松市の協力も得て事業内容の見学、講習を行った。</p>	<p>キャリア教育に結びついた系列学習として地域・大学・企業等と連携した活動の実施</p>	<p>地域・大学・企業などとの連携を積極的に実施し、実践的な知識・技術を習得させ、自己の進路や社会について考える機会としたい。 本年度も大学や企業、専門学校、商工会議所、織物組合、NPO、地元店舗、職人、福祉施設等との連携を実施している。 企業とのコラボは地域の民間企業との連携によるバナナの加工品の開発、パン職人と連携したパンの製造、県農林技術研究所より分けられた酵母菌を使い新しいパンの開発研究、遠州織物組合と浜松市の協力を得て事業内容の見学、講習を継続して行っている。</p>
	<p>キャリアパスポートファイル</p>	<p>定期的に記入日を設け、全生徒で実施した。</p>	<p>キャリアパスポートファイル</p>	<p>定期的に記入日を設け、全生徒で実施している。</p>

項 目	令和6年度		令和7年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	成果及び課題
	を使用した進路指導の活用	キャリアパスポートによる活動の振り返りを行い自己実現に繋げた。	を使用した進路指導の活用	キャリアパスポートによる活動の振り返りを行い自己実現に繋げる。
社会参加活動	ボランティア活動・小学校等との交流・地域の環境美化活動の実施	地域の幼稚園で、1年次生が園児と交流した。農業の授業で、近隣小学校（2校）の児童と野菜づくりなどを通して交流活動を行った。近隣公園の花壇の植栽・管理の他、佐鳴湖の水質調査・清掃活動、帰化生物の調査、学校周辺の清掃活動等を行った。	ボランティア活動・小学校等との交流・地域の環境美化活動の実施	1年次生が地域の幼稚園で園児と交流、農業の授業で、近隣小学校（2校）の児童と野菜づくりなどを通じた交流活動を継続して行っている。また、近隣公園の花壇の植栽・管理の他、佐鳴湖の水質調査・清掃活動、帰化生物の調査、学校周辺の清掃活動等を行っている。

(2) 定時制課程

項 目	令和6年度		令和7年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	成果及び課題
	発達障害や生活に困難を抱える生徒への対応や一人一人の進路希望に対する対応など、個々に応じたきめ細かな指導を目指す取組	4月16日の校内研修で本校生徒の全体的な特徴及びそれに対する教員の対処法について学ぶとともに個々の生徒に関する情報共有を行った。巡回通級指導を今年度も継続している。2名の生徒が指導を受けた。	発達障害や生活に困難を抱える生徒への対応や一人一人の進路希望に対する対応など、個々に応じたきめ細かな指導を目指す取組	4月15日の校内研修で本校生徒の全体的な特徴およびそれに対する教員の対処法について学ぶとともに個々の生徒に関する情報共有を行った。巡回通級指導を今年度も継続している。2名の生徒が指導を受けている。うち1名は昨年度から継続、1名は今年度から新規である。
「外国人生徒教育支援委員会」を中心に、外国人生徒に対する教育支援を外部機関と連携を図りながら組織的に進める取組	外国人生徒みらい事業による日本語学習支援やキャリア支援を行った。浜松市国際交流協会や市内企業、静岡大学、浜松商工会議所、サポートステーション浜松等と連携し、キャリア支援セミナーやグローバル教育を実施した。	「外国人生徒教育支援委員会」を中心に、外国人生徒に対する教育支援を外部機関と連携を図りながら組織的に進める取組	外国人生徒みらい事業による日本語学習支援やキャリア支援を行っている。浜松市国際交流協会や市内企業、静岡大学、浜松商工会議所、サポートステーション浜松等と連携し、キャリア支援セミナーやグローバル教育の開催を計画している。	
特別支援教育	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、クラス担任、年次主任、保健室、教	4月16日及び7月18日に本校生徒の実情と対処法について研修会を行った。7月19日に相談支援活動の共有を図る定時制特別支援教育校内委員	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、クラス担任、年次主任、保健室、教	4月15日及び7月18日に本校生徒の実情と対処法について研修会を行った。7月15日に相談支援活動の共有を図る定時制特別支援教育校内委員

項目	令和6年度		令和7年度	
	取組概要	成果及び課題	取組概要	成果及び課題
	育相談室等がチームを作り、連携を一層強化し、組織としての生徒対応を推進する取組	会を行った。 2名のスクールカウンセラー、2名のスクールソーシャルワーカーが毎週来校し、生徒や職員が相談できる体制を整えている。生徒に関する情報共有は、関係する職員間で毎月行っている。	育相談室等がチームを作り、連携を一層強化し、組織としての生徒対応を推進する取組	会を行った。同委員会を2月にも行う予定。 2名のスクールカウンセラー、2名のスクールソーシャルワーカーが毎週来校し、生徒や職員が相談できる体制を整えている。生徒に関する情報共有は、関係する職員間で毎月行っている。
社会参加活動等 (部活動 社会奉仕活動、地域連携等含む)	多くの部活動で、全国大会出場を目指し、可能な限り全国での入賞を目指す取組	6部活動が全国大会に出場した。ソフトテニス部男子団体戦(県チーム)第5位、陸上競技部女子100m優勝、女子200m第2位、第6位、男子800m第3位、男子1500m第5位、男子4×400mR(県チーム)第4位、女子4×100mR(県チーム)第2位と多くの入賞を果たした。またその結果が49年振りの静岡県全国総合優勝に繋がった。 他部活動も入賞はしなかったものの、健闘した。授業の合間を縫っての活動で練習環境が十分であるとは言えない状況であるが、生徒は非常に前向きに取り組んだ。	多くの部活動で、全国大会出場を目指し、可能な限り全国での入賞を目指す取組	5部活動が全国大会に出場した。ソフトテニス部男子個人戦第2位、男子団体戦(県チーム)第3位、陸上競技部女子100m第3位と入賞を果たした。他部活動も入賞はしなかったものの、健闘した。授業の合間を縫っての活動で練習環境が十分であるとは言えない状況であるが、生徒は非常に前向きに取り組んでいる。今後の課題としては、部員の確保や対外練習を重ねる等、全国大会前に試合を想定した練習を取り入れることが考えられる。

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

ア 全日制課程

(単位：人)

職名 区分	教育職員							行政職員					臨時・会計年度任用職員						合計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計	教諭(臨)	非常勤講師	外国語指導講師	部活動指導員	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	小計
転出者			1	6			1	8	1		1		2							0	10
退職者				4				4					0	1	1				1	3	7
再任用(退職)				9				9					0							0	9
転入者			1	5				6	1	1			2							0	8
新任者				2			1	3					0	6		1		1		8	11
再任用(新任)				11				11					0							0	11
役職定年								0					0							0	0
差引増減	0	0	0	△1	0	0	0	△1	0	1	△1	0	0	△1	5	0	1	0	0	5	4

イ 定時制課程

(単位：人)

職名 区分	教育職員					行政職員					臨時・会計年度任用職員					合計	
	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主幹	主査	主任	主事	小計	教諭(臨)	非常勤講師	指導員	初任者研修	非常勤職員		小計
転出者		2	5		7	1			1	2						0	9
退職者			2		2					0	2	4	1			7	9
再任用(退職)			12		12					0						0	12
転入者		2	5		7	1				1						0	8
新任者			2		2				1	1	1	4				5	8
再任用(新任)			11		11					0						0	11
役職定年					0					0						0	0
差引増減	0	0	△1	0	△1	0	0	0	0	0	△1	0	△1	0	0	△2	△3

(2) 現員数 (令和7年7月31日現在)

ア 全日制課程

(単位：人)

職名 区分	教育職員							行政職員				臨時・会計年度任用職員						合計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	小計	教諭(臨)	非常勤講師	外国語指導講師	部活動指導員	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	小計
計	1	1	1	42	1	1	1	48	1	3	0	4	0	15	1	1	1	3	21	73

* (再掲) 再任用教諭：週38時間45分 9人、週19時間25分 2人

イ 定時制課程

(単位：人)

職名 区分	教育職員					行政職員				臨時・会計年度任用職員					合計
	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	主幹	主査	主事	小計	教諭(臨)	非常勤講師	修指導員	初任者研	非常勤職員	
計	1	2	42	2	47	1	2	1	4	1	17	0	4	22	73

* (再掲) 再任用教諭：週 38 時間 45 分 4 人、週 19 時間 25 分 7 人

(3) 健康管理について

【令和6年度】

- ア 教職員全員の定期健康診断、生活習慣病健診の実施とともに、指定年齢健診、人間ドック、脳ドックの受診を勧め、疾病予防と早期発見に努めた。
- イ 「職場の健康づくり支援事業」を活用した手軽にできる健康づくりは、7月25日に整理収納アドバイザーの岡野谷 洋子様を招請し、「整理収納」の講義（職員室の整理収納～環境を整える～）を実施した。
- ウ 職員安全衛生委員会を毎月実施し、健康管理医の適切な指導、助言を仰ぎ、教職員対象に講話を実施した。
- エ 健康診断結果をもとに、健康管理医による生活習慣病予防についての指導助言、教育厚生課教職員保健指導の機会を活用して、健康管理に役立てた。また、勤務時間が80時間/月を超えた教職員は健康管理医による面談若しくは定期健康診断結果票閲覧による健康確認を行った。
- オ 職員（希望者）を対象としたインフルエンザの予防接種を、昨年度に引き続き実施した。
- カ 健康管理医の意見を参考に、更衣室や給湯室などの環境整備に努めた。

【令和7年度】

- ア 教職員全員の定期健康診断、生活習慣病健診の実施とともに、指定年齢健診、人間ドック、脳ドックの受診を勧め、疾病予防と早期発見に努める。
- イ 「職場の健康づくり支援事業」を活用した手軽にできる健康づくりは、7月23日に村井 智明様を招請し、「ハンドリフレ～色と性格で発見！手の癒し」を実施した。
- ウ 職員安全衛生委員会を毎月実施し、健康管理医の適切な指導、助言を仰ぎ、教職員対象に講話を行う予定である。
- エ 健康診断結果をもとに、健康管理医による生活習慣病予防についての指導助言、教育厚生課教職員保健指導の機会を活用して、健康管理に役立てる。また、勤務時間が80時間/月を超えた教職員は健康管理医による面談若しくは定期健康診断結果票閲覧による健康確認を行っている。
- オ 職員（希望者）を対象としたインフルエンザの予防接種を、今年度も引き続き実施する予定である。
- カ 健康管理医の意見を参考に、更衣室や給湯室などの環境整備に努める。

(4) 教職員の研修について

ア 全日制課程

【令和6年度】

(7) 教育委員会の実施する研修への参加

初任者研修（1人）、2年次研修（2人）、3年次研修（2人）、6年次研修（1人）、8年次研修（2人）に参加させるとともに、県総合教育センター主催の希望研修等への参加を奨励し、教職員としての資質向上に努めた。

(i) 校内研修

研修目的	研修内容	成果と課題
授業改善①	6月と11月に授業参観期間を設定し、相互の授業を参観し	1学期の授業参観授業では、参観した先生の教授法や教材等を自分の授業に取り入れ

研修目的	研修内容	成果と課題
	た。 生徒による授業アンケートを2学期に実施した。	たり、授業のアドバイスをもらったりすることで、授業の改善に役立てた。 授業アンケートは、2学期に予定どおり全教員で実施。
授業改善②	定期テストの実施方法や実施時期について検討する研修会を実施した。	研修会では、単位数が少ない科目における中間テストの在り方について議論がなされた。教科によって考え方の相違が見られた。
学校運営①	BYOD(個人所有端末)によるPC活用の研修を行った。	講師を招いてPC(タブレット)活用に係る研修を行い理解を深めた。端末の導入から、学習効果の高い運用について研究を重ねた。
学校運営②	校内で情報を共有し、必要に応じて支援会議を開催した。また、特別支援に関する研修を行った。	研修会では、単位の履修・修得に関する内規について、欠課時間数についての記載について議論された。時代に即した内規に更新することができた。
特別支援教育	校内で情報を共有し、必要に応じて支援会議を開催した。また、特別支援に関する研修を行った。	人間関係や学習・生活面などで気になる生徒や配慮を要する生徒の状況を共有し、個別に支援した。また、特別支援に関する全体研修を行った。継続的な支援が必要な場合は、支援会議を開催し、支援計画の作成を含めて検討していく。
人権教育	LHRの時間に人権啓発ビデオを視聴し、人権についてクラスで考えた。また、人権に関する講演会を実施した。 人権教育担当者が参加する研修会の内容を職員会議で報告し、職員全員で共有した。	LHRでは、人権尊重の理解に加え「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」について、気づかせそれが態度や行動に現れるよう、学校生活全体の中で指導した。
安全教育	防災訓練では、年次ごとに外部講師を招いての体験的な訓練(煙中脱出・起震車体験・AEDの使い方)を行った。	体験的な訓練を通して、災害時の状況を想定し、被害拡大を防ぐことを目的とした自助・共助の具体的な取組について考える時間を設けた。

【令和7年度】

(7) 教育委員会の実施する研修への参加

初任者研修(1人)、2年次研修(1人)、3年次研修(2人)、6年次研修(1人)、8年次研修(2人)、中堅教諭等資質向上研修(1人)に参加させるとともに、県総合教育センター主催の希望研修等への参加を奨励し、教職員としての資質向上に努める。

(4) 校内研修

研修目的	研修内容	成果と課題
授業改善①	6月と11月に授業参観期間を設定し、相互の授業を参観する。	1学期の授業参観授業では、参観した先生の教授法や教材等を自分の授業に取り入れたり、授業のアドバイスをもらったりすることで、授業の改善に役立てた。2学期も予定どおり実施する。

研修目的	研修内容	成果と課題
授業改善②	生徒による授業アンケートを学期ごとに実施し、授業改善に生かす。	7月に1学期の授業アンケートを実施した。結果を2学期の授業に活かしていく。2学期にも予定どおり全教員で実施する。
学校運営①	担当からBYOD(個人所有端末)によるPC活用にかかる情報を提供し、一人一人が実践に取り組む。	情報担当者からPC(タブレット)活用に係る情報を提供し、各自が授業での活用に取り組んでいる。今後も学習効果の高い端末の運用について研究を重ねる。
学校運営②	教務に関する校務内規の見直しを実施する。	研修会では、単位の履修・修得に関する内規について、履修科目の設定、選択の仕方について見直しを行っている。生徒にとってより選択の幅がでるように進めたい。
特別支援教育	校内で情報を共有し、必要に応じて支援会議を開催する。また、生徒指導に関する研修を行い支援に活かしていく。	人間関係や学習・生活面などで気になる生徒や配慮を要する生徒の状況を共有し、個別に支援する。また、生徒指導に関する全体研修を行い、生徒指導提要の内容を踏まえ、困り感のある生徒への指導に生かしていく。必要に応じて支援会議を開催し、支援計画の作成を含めて検討していく。
人権教育	LHRの時間に人権啓発ビデオを視聴し、人権についてクラスで考える。 人権教育担当者が参加する研修会の内容を職員会議で報告し、職員全員で共有する。	LHRでは、人権尊重の理解に加え「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」について、気づかせそれが態度や行動に現れるよう、学校生活全体の中で指導する。
安全教育	防災訓練では、年次ごとに外部講師を招いての体験的な訓練(煙中脱出・起震車体験・AEDの使い方)を行う。	体験的な訓練を通して、災害時の状況を想定し、被害拡大を防ぐことを目的とした自助・共助の具体的な取組などについても考えさせたい。

イ 定時制課程

【令和6年度】

(7) 教育委員会等の実施する研修への参加

初任者研修(2人)、2年次研修(2人)、3年次研修(1人)、6年次研修(1人)、7年次研修(1人)、8年次研修(1人)、中堅教諭等資質向上研修(1人)に参加させるとともに、県総合教育センター主催の希望研修等への参加を奨励し、教職員としての資質向上に努めた。

(i) 校内研修

研修目的	研修内容	成果と課題
外国人生徒への理解を深め、支援体制を強化する。	外国人生徒教育支援委員会を中心として効果的な研修を実施した。	外国人も含め、本校の多様な生徒を理解するための校内研修(4/16)
授業改善に積極的に取り組む。	研究授業期間を年2回設定し、授業改善を推進した。また、生徒の履修登録に向け、適切な指導ができるよう研修会を実施した。 他校の公開授業を積極的に参観することができた。	全教員による研究授業 (5/13~6/28、10/28~11/29) 年度当初生徒理解研修(4/16) 履修登録研修(8/29) ICTの活用に関する事例研究(11月) 西部地区定時制教科等研究会 (10/2、10/15、11/26)

研修目的	研修内容	成果と課題
人権教育及び特別支援教育	<p>新入生の実情への認識を深める研修会、特別支援教育に関する研修会を実施した。</p> <p>毎月、「通級だより」を職員に配布し、通級指導の在り方や実情について理解を深めることができた。</p> <p>人権教育に関する講演会を実施し、理解を深めた。</p>	<p>本校の多様な生徒の実態を理解するための研修会（4/16）</p> <p>スクールソーシャルワーカーによる生徒支援研修会（7/18）</p> <p>生徒の特性に応じたICTの活用法を考える（チーム研修）（8/8）</p> <p>人権教育講演会（10/21）</p>

【令和7年度】

(7) 教育委員会等の実施する研修への参加

初任者研修（2人）、2年次研修（2人）、3年次研修（2人）、6年次研修（1人）、7年次研修（2人）、中堅教諭等資質向上研修（1人）に参加させるとともに、県総合教育センター主催の希望研修等への参加を奨励し、教職員としての資質向上に努める。

(4) 校内研修

研修目的	研修内容	成果と課題
外国人生徒への理解を深め、支援体制を強化する。	外国人生徒教育支援委員会を中心として効果的な研修を実施した。	外国人も含め、本校の多様な生徒を理解するための校内研修（4/15）
授業改善に積極的に取り組む。	<p>研究授業期間を年2回設定し、授業改善を推進する。また、生徒の履修登録に向け、適切な指導ができるよう研修会を開く。</p> <p>他校の公開授業を積極的に参観する。</p>	<p>全教員による研究授業（5/12～6/28、10/27～11/21）</p> <p>年度当初生徒理解研修（4/15）</p> <p>履修登録研修（8/28）</p> <p>ICTの活用に関する事例研究（11月）</p> <p>西部地区定時制教科等研究会（9/30、10/7、11/12、11/21）</p>
人権教育及び特別支援教育	<p>新入生の実情への認識を深める研修会、特別支援教育に関する研修会を実施した。</p> <p>毎月、「通級だより」を職員に配布し、通級指導の在り方や実情について理解を深める。</p> <p>人権教育に関する講演会を実施し、理解を深める。</p>	<p>本校の多様な生徒の実態を理解するための研修会（4/16）</p> <p>スクールソーシャルワーカーによる生徒支援研修会（7/15）</p> <p>自己分析を通して、キャリアプランの育成（チーム研修）（8/21）</p> <p>人権教育講演会（10/20）</p>

6 防災対策について

(1) 全日制課程

【令和6年度】

ア 防災訓練の実施

火災、地震等を想定し、年2回（9月、10月）の防災訓練を行った。

実施年月日	実施場所	参加人数	訓練内容
6.9.6	HR教室	458人	地震発生時の対応訓練 報告訓練
6.10.11	特別教室、グラウンド、体育館	470人	消防署員の指導により 煙道訓練、消火訓練、AEDの使い方・人工呼吸法について訓練を実施した。

イ 災害時の留め置き用装備品の完備

実際に災害が発生し、学校に留め置く生徒が出たときに必要となる装備品（食糧3日分）を完備した。

- ウ 防災用具の取り扱いについての確認
マンホールトイレの取り扱いについて確認した。

【令和7年度】

ア 防災訓練の実施

火災、地震等を想定し、年2回（9月、10月）の防災訓練を行う。

実施(予定)年月日	実施場所	参加(予定)人数	訓練内容
7.9.5	HR教室	490人	地震発生時の対応訓練 報告訓練
7.10.11	特別教室、グラウンド、体育館	490人	消防署員の指導により 煙道訓練、消火訓練、AEDの使い方・人工呼吸法について訓練を実施する。

イ 災害時の留め置き用装備品の完備

実際に災害が発生し、学校に留め置く生徒が出たときに必要となる装備品（食糧3日分）を完備する。

- ウ 防災用具の取り扱いについての確認
マンホールトイレの取り扱いについて確認する。

(2) 定時制課程

【令和6年度】

ア 防災訓練の実施

火災、地震等を想定し、4、7、10月の年3回、通報・避難誘導訓練、防火訓練を行った。また、消防署と連携して、消火器やAEDの使い方訓練、煙道体験等を行った。

実施年月日	実施場所	参加人数	訓練内容
6.4.11	体育館	417人	地震発生時対応訓練 緊急避難経路・安全確認
6.7.1	校舎	405人	地震発生時対応訓練、避難・報告訓練 緊急避難経路確認、生徒安否確認 防災調べ学習
6.10.4	グラウンド(①) 校舎(②) 体育館(③)	405人	火災発生時対応訓練 消火訓練(①)、煙道訓練(②)、 AED訓練(③)

イ 地域防災訓練への参加の奨励

地域防災訓練への参加を推進する。そのために事前指導の徹底を図った。

【令和7年度】

ア 防災訓練の実施

火災、地震等を想定し、4、10月の年2回、通報・避難誘導訓練、防火訓練を行う。また、消防署と連携して、消火器やAEDの使い方訓練、煙道体験等を行う。

実施(予定)年月日	実施場所	参加(予定)人数	訓練内容
7.4.10	体育館	383人	地震発生時対応訓練 緊急避難経路・安全確認

実施(予定)年月日	実施場所	参加(予定)人数	訓練内容
7.10.6	グラウンド(①) 校舎(②) 体育館(③)	376人	火災発生時対応訓練 消火訓練(①)、煙道訓練(②)、 AED訓練(③)

イ 地域防災訓練への参加の奨励

地域防災訓練への参加を推進する。そのために事前指導の徹底を図る。

7 学校開放について

地域住民の社会教育活動等のため施設を開放する。

【令和6年度】

施設名	利用日数	利用人数	利用者負担金 (電気料)	主な利用目的
柔剣道場	66日	1,172人	9,533円	剣道教室(小、中学生)
体育館	11日	286人	11,431円	新体操教室(小、中学生)
普通教室等	16日	890人	42,431円	P T A補習等学力向上支援活動等

【令和7年度】

施設名	利用日数	利用人数	利用者負担金 (電気料)	主な利用目的
柔剣道場	27日	455人	3,346円	剣道教室(小、中学生)
体育館	3日	30人	2,176円	新体操教室(小、中学生)
普通教室等	5日	205人	0円	P T A補習等学力向上支援活動等

8 P F I 事業による学校運営について

西遠P F I サービス株式会社が、以下の項目の管理運営を、令和7年度まで実施する。

(1) 施設の維持管理

ア 協力会社・・・東海美装興業(株)

イ 維持管理

(ア) 施設の日常巡視、消防設備・プールろ過機等設備保守、床面・ガラス面等の定期清掃、植栽等外構管理、水質等検査、開校時の警備員常駐、夜間機械警備

(イ) 修繕及び機器・器具等の更新

(ウ) 大規模修繕

(2) 食堂・売店の運営

ア 協力会社・・・(株)ヤタロー

イ 営業時間 午前8時から午後6時まで

食堂 午前11時から午後1時15分までの昼休み

午後5時から5時30分まで

売店 午前8時から午後6時までの休み時間

(3) モニタリング

ア 月次モニタリング

イ 四半期モニタリング

ウ 随時モニタリング

定期的に、維持管理業務、食堂・売店の運営の実施内容を確認し、必要に応じ指示・改善を命ずる。

□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること。	教育基本法（第1、2条） 学校教育法 （第1、2、3、50、51、52、53、55、56、57、59、60、61条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 単位制高等学校教育規程 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 高等学校の定時制教育及び通信制教育振興法
2 学校の管理運営に関すること。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21、22条） 学校保健安全法（第15、27条） 学校図書館法（第3、4条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16、17条） 個人情報の保護に関する法律 個人情報の保護に関する法律施行条例 静岡県情報公開条例 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱 静岡県公立高等学校等高校生臨時支援金事務処理要綱

□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

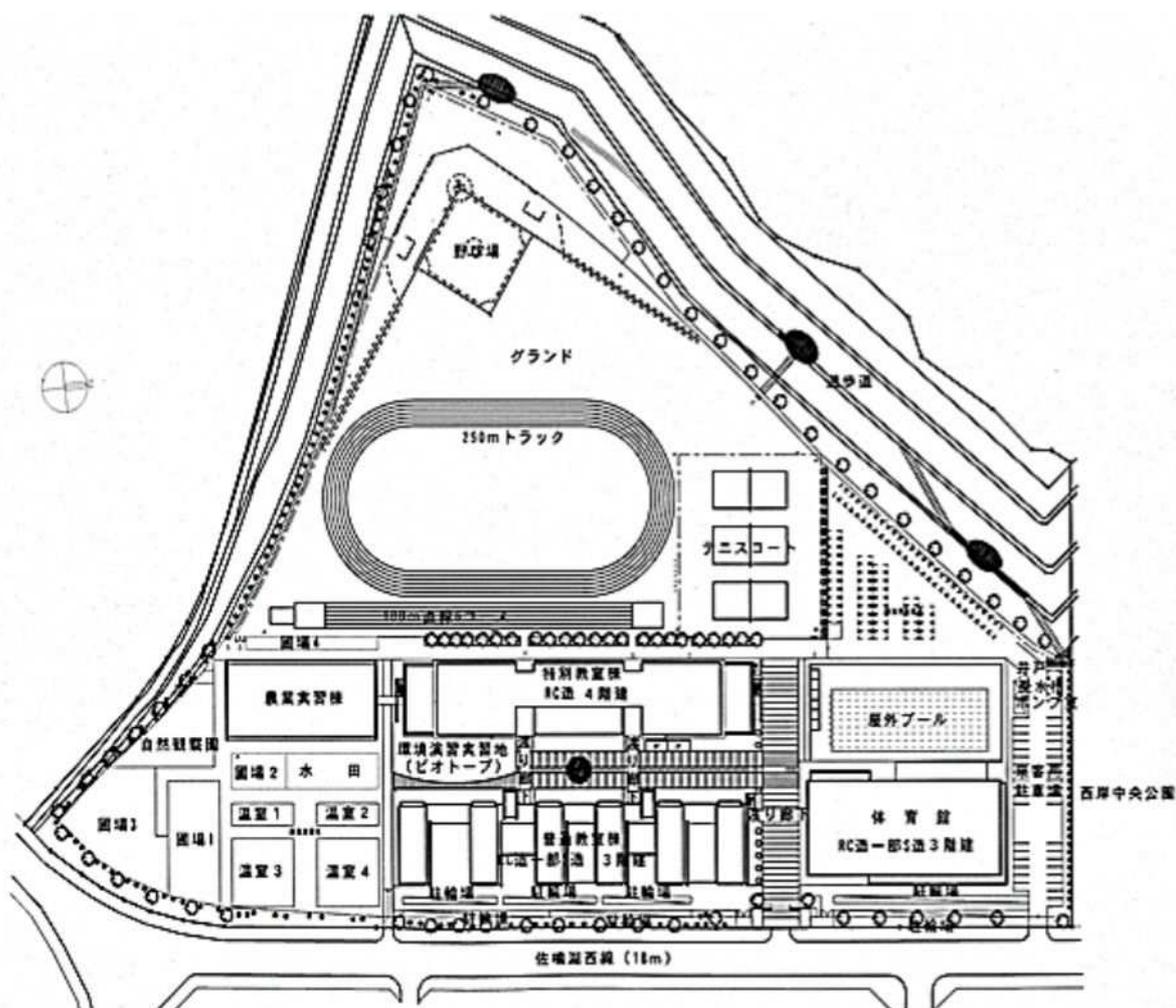
1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	61,990.63	61,990.63	0.00	0.00	0.00	0.00	
内 訳	校 舎 敷 地	23,942.89	23,942.89				
	運 動 場 敷 地	19,554.87	19,554.87				
	そ の 他 の 敷 地	18,492.87	18,492.87				
実 習 地	2,856.76	2,856.76	0.00	0.00	0.00	0.00	
内 訳	田	300.00	300.00				
	畑	800.00	800.00				
	果 樹 園	800.00	800.00				
	草 花 園	500.00	500.00				
	造 園	200.00	200.00				
	そ の 他 の 敷 地	256.76	256.76				
校 舎	建 4,690.19	4,690.19					
	延 14,086.48	14,086.48					
体 育 館	建 2,198.44	2,198.44					
	延 3,356.14	3,356.14					
そ の 他 の 建 物	建 2,986.78	2,986.78					
	延 2,986.78	2,986.78					
プ ー ル	1 個	1 個					50m 8コース
職 員 住 宅	0 戸	0 戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

(単位：m²)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	43,497.76	14,086.48	19,554.87
県平均	45,574.48	9,782.41	22,506.84

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(全日制)

令和7年7月31日現在

学 年	学科別 区 分		総 合 学 科				
			定 員	男 子	女 子	計	
1 年	入 学 者		160	69	99	168	
		増 加					
		減 少					
	現 在				69	99	168
2 年	入 学 者			160	64	102	166
		増 加					
		減 少			2	2	
	2 年時当初				64	100	164
		増 加					
		減 少				1	1
	現 在				64	99	163
3 年	入 学 者			160	54	110	164
		増 加					
		減 少			4	4	
	2 年時当初				54	106	160
		増 加					
		減 少			1	1	2
	3 年時当初				53	105	158
		増 加					
		減 少				2	2
現 在				53	103	156	
合 計				186	301	487	

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(定時制)

令和7年7月31日現在

学年	学科別		普 通 科			
	区 分		定 員	男 子	女 子	計
1 年	入 学 者		160	58	59	117
		増 加				
		減 少		1	1	2
	現 在			57	58	115
2 年	入 学 者		160	76	78	154
		増 加				
		減 少			(1)	(1)
	2 年 時 当 初			13	13	26
				63	64	127
		増 加				
		減 少		1	2	3
現 在			62	62	124	
3 年	入 学 者		200	70	67	137
		増 加				
		減 少			(1)	(1)
	2 年 時 当 初			6	6	12
				64	60	124
		増 加				
		減 少		(1)	(2)	(3)
	3 年 時 当 初			8	10	18
				55	48	103
	増 加					
	減 少		2	1	3	
現 在			53	47	100	
4 年	入 学 者		200	87	69	156
		増 加				
		減 少		(1)		(1)
	2 年 時 当 初			12	8	20
				74	61	135
		増 加				
		減 少		(2)		(2)
	3 年 時 当 初			18	9	27
				54	52	106
		増 加			(2)	(2)
		減 少		(28)	(29)	(57)
	4 年 時 当 初			5	8	13
				21	15	36
	増 加					
	減 少					
現 在			21	13	34	
合 計				193	180	373

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

(全日制)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		総合学科	総合学科	総合学科	総合学科	総合学科
生徒定員 (A)		160	160	160	160	160
募集者数 (B)		160	160	160	160	160
志願者数	男	51 (1)	55 (0)	58 (0)	71 (0)	73 (0)
	女	109 (0)	115 (0)	123 (0)	107 (0)	101 (0)
	計(C)	160 (1)	170 (0)	181 (0)	178 (0)	174 (0)
受検者数	男	51 (1)	55 (0)	57 (0)	70 (0)	73 (0)
	女	109 (0)	115 (0)	122 (0)	106 (0)	101 (0)
	計(D)	160 (1)	170 (0)	179 (0)	176 (0)	174 (0)
合格者数	男	50 (1)	53 (0)	54 (0)	64 (0)	69 (0)
	女	109 (0)	111 (0)	110 (0)	102 (0)	99 (0)
	計(E)	159 (1)	164 (0)	164 (0)	166 (0)	168 (0)
志願倍率 (C)/(B)		1.00	1.06	1.13	1.11	1.09
受検倍率 (D)/(B)		1.00	1.06	1.12	1.10	1.09
入学者数	男	50	53	54	64	69
	女	109	111	110	102	99
	計(F)	159	164	164	166	168
充足率 (F)/(A)		0.99	1.03	1.03	1.04	1.05

□□□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

(定時制)

区分	年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		春季	秋季	合計												
生徒定員(A)		180	20	200	180	20	200	180	20	200	145	15	160	145	15	160
志願者数	男	76	13	89	95	6	101	65	9	74	75	5	80	60		60
	女	69	7	76	64	5	69	67	3	70	76	3	79	62		62
	計(B)	145	20	165	159	11	170	132	12	144	151	8	159	122		122
受検者数	男	76	12	88	93	6	99	65	9	74	71	5	76	59		59
	女	69	7	76	62	4	66	66	3	69	75	3	78	62		62
	計(C)	145	19	164	155	10	165	131	12	143	146	8	154	121		121
合格者数	男	71	6	77	85	2	87	63	7	70	71	5	76	59		59
	女	67	5	72	62	3	65	65	3	68	75	3	78	61		61
	計(D)	138	11	149	147	5	152	128	10	138	146	8	154	120		120
入学者数	男	71	6	77	85	2	87	63	7	70	71	5	76	58		58
	女	67	5	72	62	3	65	64	3	67	75	3	78	59		59
	計(E)	138	11	149	147	5	152	127	10	137	146	8	154	117		117
志願倍率(B)/(A)		0.83			0.85			0.72			0.99			0.76		
受検倍率(C)/(A)		0.82			0.83			0.72			0.96			0.76		
充足率(E)/(A)		0.75			0.76			0.69			0.96			0.73		

□□□□□□

卒業生の動向調

1 進路状況

(全日制)

学 科 別		総合学科			
年 度		4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		153	152	151	
内 訳	(進学志願者)	(127)	(113)	(113)	
	進 学 者	大学・短大	73	49	58
		専修・各種学校等	52	62	55
		小 計	125	111	113
	就 職 者	25	39	35	
	自 営 者	0	0	0	
	進 学 準 備 者	2	2	0	
	そ の 他	1	0	3	
合 計		153	152	151	

(定時制)

学 科 別		普通科			
年 度		4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		124	97	96	
内 訳	(進学志願者)	(54)	(36)	(40)	
	進 学 者	大学・短大	15	10	14
		専修・各種学校等	34	20	16
		小 計	49	30	30
	就 職 者	40	28	32	
	自 営 者	0	0	0	
	進 学 準 備 者	5	6	4	
	そ の 他	30	33	30	
合 計		124	97	96	

2 求人状況

(全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者	25	39	38
求 人 数	102	155	166
求 人 倍 率	4.1	4.0	4.4

□□□□□□

卒業生の動向調

3 資格取得状況

(令和6年度)

課 程		全 日 制	定 時 制
学 科 別		総合学科	普通科
卒 業 生 徒 数		151	96
実 用 英 語 技 能 検 定	準 1 級		
	2 級		2
	準 2 級		
	3 級		
日 本 漢 字 能 力 検 定	2 級	2	
	準 2 級		
	3 級	1	
毛 筆 書 写 技 能 検 定	2 級		
(日検)パソコンスピード認定試験	1 級		
	2 級	7	
(日検)日本語ワープロ検定	初 段		
	1 級		
	準 1 級		
	2 級		
	準 2 級		
	3 級		1
(日検)文書デザイン検定	1 級		
	2 級		4
	3 級		15
(日検)情報処理技能検定	1 級	16	
	準 1 級		
	2 級	4	
	準 2 級	3	
(日検)ホームページ作成検定	3 級	97	13
	1 級		
	2 級		
(日検)実用数学技能検定	3 級		
	準 2 級		
	1 級		
(全商)情報処理検定	1 級	4	
	2 級	13	
	3 級	25	
(全商)簿記実務検定	1 級	5	
	2 級	8	
	3 級	16	

□□□□□□

卒業生の動向調

3 資格取得状況

(令和6年度)

課 程		全日制	定時制
学 科 別		総合学科	普通科
卒 業 生 徒 数		151	96
(全経)電卓計算能力検定	4 段		
	3 段		
	2 段		
	1 級		
	2 級		
	3 級		
(全経)簿記能力検定	1 級		
	2 級		1
	3 級		8
(全経)計算能力検定	3 級		
(日商)簿記実務検定	2 級		
	3 級	6	
(日商)販売士検定	3 級		
初 級 C A D 技 能 検 定		16	
機械製図検定		12	
基礎製図検定		11	
プレゼンテーション作成検定	1 級		
危険物取扱者(乙種)	1 類		
	2 類		
	3 類		
	4 類		
	5 類		
	6 類		
一般毒物劇物取扱者			
食物調理技術検定	3 級	18	
	4 級	21	
保育技術検定	3 級	2	
	4 級	13	
音楽検定	4 級		
秘書検定	3 級		
プレゼンテーション検定	1 級		
	2 級		
農業技術検定	2 級		
	3 級	12	
合 計		312	44

□□□□□□

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地【全日制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	浜 松 市	湖 西 市	磐 田 市	そ の 他				合 計
生徒数	396	71	2	18				487人
構成比 %	81.3%	14.6%	0.4%	3.7%				100.0%

【定時制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	浜 松 市	磐 田 市	湖 西 市	掛 川 市	袋 井 市	そ の 他		合 計
生徒数	319	24	14	4	6	6		373人
構成比 %	85.5%	6.4%	3.8%	1.1%	1.6%	1.6%		100.0%

(2) 通学方法【全日制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	自 転 車	バ ス	電 車	徒 歩	そ の 他		合 計
生徒数	393	52	19	23	0		487人
構成比 %	80.7%	10.7%	3.9%	4.7%	0.0%		100.0%

【定時制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	自 転 車	バ ス	電 車	自家用車(送迎)	徒 歩	原付自転車	合 計
生徒数	165	109	38	29	32	0	373人
構成比 %	44.2%	29.2%	10.2%	7.8%	8.6%	0.0%	100.0%

(3) 生徒の年齢【定時制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	計
1 年	106	4	1	1	1	1	1								115
2 年		114	4	3	2		1								124
3 年			91	5	2			1	1						100
4 年				30	3	1									34
計	106	118	96	39	8	2	2	1	1						373

(4) 生徒の就業状況【定時制】

(令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分	建 設	製 造	卸 小 売	サービス業	各種学校	そ の 他	無 職	計
1 年		1	2	3				6
2 年			16	41				57
3 年		1	21	37				59
4 年			6	13				19
計		2	45	94				141

2 部(クラブ)の加入状況

【全日制】 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		9	11		20
男 子	1 年	48	21	0	69
	2 年	49	15	0	64
	3 年	37	16	0	53
	計(A)	134	52	0	186
	構成比	72.0%	28.0%	0.0%	100.0%
女 子	1 年	33	66	0	99
	2 年	32	67	0	99
	3 年	19	84	0	103
	計(B)	84	217	0	301
	構成比	27.9%	72.1%	0.0%	100.0%
合 計	(A+B)	218	269	0	487
	構成比	44.8%	55.2%	0.0%	100.0%

【定時制】 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	3		15
男 子	1 年	17	0	40	57
	2 年	7	0	55	62
	3 年	7	1	45	53
	4 年	2	0	19	21
	計(A)	33	1	159	193
	構成比	17.1%	0.5%	82.4%	100.0%
女 子	1 年	12	1	45	58
	2 年	11	0	51	62
	3 年	4	0	43	47
	4 年	0	0	13	13
	計(B)	27	1	152	180
	構成比	15.0%	0.6%	84.4%	100.0%
合 計	(A+B)	60	2	311	373
	構成比	16.1%	0.5%	83.4%	100.0%

□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年7月31日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	303	0

□□□□□□

授 業 料 収

(全日制)

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額
前 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10	28 2	1,366,200 59,400	28 1	1,514,700 29,700	28	1,366,200	84 3	4,247,100 89,100
	11								
	12	▲ 2	▲ 59,400					▲ 2	▲ 59,400
	計	28	1,366,200	29	1,544,400	28	1,366,200	85	4,276,800
後 期	10								
	11								
	12								
	1	27	1,603,800	25	1,485,000	23	1,366,200	75	4,455,000
	2								
	3								
計	27	1,603,800	25	1,485,000	23	1,366,200	75	4,455,000	
合計		55	2,970,000	54	3,029,400	51	2,732,400	160	8,731,800

納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未済額	
円	%			
				A 期首収納権利発生額 = 4,336,200 円 1年 18人× 9,900円× 6月 = 1,069,200円 4~9月分 1年 1人× 9,900円× 3月 = 29,700円 4~6月分 1年 11人× 9,900円× 3月 = 326,700円 7~9月分 2年 23人× 9,900円× 6月 = 1,366,200円 4~9月分 2年 3人× 9,900円× 3月 = 89,100円 4~6月分 2年 3人× 9,900円× 3月 = 89,100円 7~9月分 3年 18人× 9,900円× 6月 = 1,069,200円 4~9月分 3年 5人× 9,900円× 3月 = 148,500円 4~6月分 3年 5人× 9,900円× 3月 = 148,500円 7~9月分
				B 収納権利増減(▲)額 = ▲ 59,400 円 (内訳) 1年 2人× 9,900円× 3月 = 59,400円 7~9月分 支援金遡及認定
4,217,400	99.3	0	29,700	
89,100	100.0			
		29,700	0	
▲ 59,400				
4,247,100	99.3	29,700	0	C 収納必要額 A-B = 4,276,800 円
				A 期首収納権利発生額 = 4,455,000 円 1年 27人× 9,900円× 6月 = 1,603,800円 10~3月分 2年 25人× 9,900円× 6月 = 1,485,000円 10~3月分 3年 23人× 9,900円× 6月 = 1,366,200円 10~3月分
				B 収納権利増減(▲)額 = 0 円
4,395,600	98.7	0	59,400	
		59,400	0	
4,395,600	98.7	59,400	0	C 収納必要額 A-B = 4,455,000 円
8,642,700	99.0	89,100	0	D 収 納 必 要 額 = 8,731,800 円

□□□□□□

授業料収納状況調（単位制）

（令和6年度）

（定時制）

期別	月別	調定の状況		収納の状況				異動者の状況
				納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	円	%			
前期	4							A 期首収納権利発生額＝ 1,246,855円
	5							B 収納権利増減（▲）＝ ▲ 41,470円
	6							C 収納必要額 A-B＝ 1,205,385円
	7							内訳別紙のとおり
	8	1	14,355	14,355	100.0			
		1	18,560	18,560	100.0			
		1	435	435	100.0			
	9	5	66,990	66,990	100.0			
		58	951,345	944,385	99.3	0	6,960	
		2	21,750	21,750	100.0			
	10	131,950	111,505	84.5	0	20,445		
	2	17,400						
	▲ 2	▲ 17,400						
	11				6,960	0		
					20,445	0		
	計	78	1,205,385	1,177,980	97.7	27,405	0	
後期	10							A 期首収納権利発生額＝ 1,497,270円
	11							B 収納権利増減（▲）＝ ▲ 31,175円
	12	1	4,930	4,930	100.0			C 収納必要額 A-B＝ 1,466,095円
		118	1,298,910	1,249,320	96.2	0	49,590	
		25	183,570	183,570	100.0			
	1					49,590	0	
	2		▲ 8,410 ▲ 7,830 ▲ 5,075	▲ 8,410			▲ 7,830 ▲ 5,075	
3			▲ 7,830 ▲ 5,075			0 0		
	計	144	1,466,095	1,416,505	96.6	49,590	0	
合計	222	2,671,480	2,594,485	97.1	76,995	0	D 収納必要額＝ 2,671,480円	

(別紙)

		A 期首収納権利発生額		B 収納権利増減(▲)額		調定額
前 期	4年 1 人 4,785 円× 6 月= 28,710 円 4~9月分	4年 1 人 4,785 円× 3 月= 14,355 円 7月1日休学	14,355 円			
	4年 1 人 4,640 円× 6 月= 27,840 円 4~9月分	4年 1 人 4,640 円× 2 月= 9,280 円 7月24日退学	18,560 円			
	3年 1 人 145 円× 6 月= 870 円 4~9月分	3年 1 人 145 円× 3 月= 435 円 6月24日退学	435 円			
	4年 5 人 1,740 円× 38.5 単位= 66,990 円 4~9月分		66,990 円			
	1年 10 人 1,740 円× 110 単位= 191,400 円 4~9月分		951,345 円			
	2年 15 人 1,740 円× 173.5 単位= 301,890 円 4~9月分					
	2年 1 人 3,915 円× 3 月= 11,745 円 4~6月分					
	3年 9 人 1,740 円× 95 単位= 165,300 円 4~9月分					
	4年 23 人 1,740 円× 161.5 単位= 281,010 円 4~9月分					
	4年 1 人 3,480 円× 6 月= 20,880 円 4~9月分	9月20日退学	21,750 円			
	3年 1 人 145 円× 6 月= 870 円 4~9月分	9月30日退学				
	1年 1 人 1,885 円× 6 月= 11,310 円 4~9月分		131,950 円			
	2年 1 人 3,045 円× 3 月= 9,135 円 4~6月分					
	2年 1 人 4,205 円× 6 月= 25,230 円 4~9月分					
	2年 1 人 3,625 円× 4 月= 14,500 円 4~7月分					
	3年 1 人 3,915 円× 3 月= 11,745 円 4~6月分					
	3年 1 人 145 円× 6 月= 870 円 4~9月分					
	4年 4 人 1,740 円× 34 単位= 59,160 円 4~9月分					
	1年 1 人 2,755 円× 3 月= 8,265 円 7~9月分			17,400 円		
	2年 1 人 3,045 円× 3 月= 9,135 円 7~9月分					
	1年 1 人 2,755 円× 3 月= 8,265 円 支援金遡及認定	▲ 17,400 円				
	2年 1 人 3,045 円× 3 月= 9,135 円 支援金遡及認定					
A 期首収納権利発生額= 1,246,855 円		B 収納権利増減(▲)額= ▲ 41,470 円	1,205,385 円			
後 期	4年 1 人 2,465 円× 6 月= 14,790 円 10~3月分	4年 1 人 2,465 円× 4 月= 9,860 円 11月20日退学	4,930 円			
	1年 14 人 1,740 円× 133 単位= 231,420 円 10~3月分		1,298,910 円			
	2年 24 人 1,740 円× 193.5 単位= 336,690 円 10~3月分					
	3年 55 人 1,740 円× 226.5 単位= 394,110 円 10~3月分					
	4年 25 人 1,740 円× 193.5 単位= 336,690 円 10~3月分					
	1年 1 人 1,885 円× 6 月= 11,310 円 10~3月分		183,570 円			
	2年 4 人 1,740 円× 17.5 単位= 30,450 円 10~3月分					
	3年 12 人 1,740 円× 34 単位= 59,160 円 10~3月分					
	4年 8 人 1,740 円× 47.5 単位= 82,650 円 10~3月分					
		2年 1 人 4,205 円× 2 月= 8,410 円 1月31日退学	▲ 8,410 円			
	2年 1 人 3,915 円× 2 月= 7,830 円 1月31日転学	▲ 7,830 円				
	4年 1 人 5,075 円× 1 月= 5,075 円 2月25日退学	▲ 5,075 円				
A 期首収納権利発生額= 1,497,270 円		B 収納権利増減(▲)額= ▲ 31,175 円	1,466,095 円			
合 計			2,671,480 円			

□□□□□□

授業料収納状況調（単位制）

（令和7年度）

（令和7年7月31日現在）

（定時制）

期別	月別	調定の状況		収 納 の 状 況				異動者の状況
				納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 納 額		
		人員	調 定 額	円	%	円	円	
前 期	4							A 期首収納権利発生額＝ 46,980円 2年1人 4,205円×6月＝25,230円 2年1人 3,625円×6月＝21,750円 B 収納権利増減（▲）＝ ▲ 23,490円 2年1人 4,205円×3月＝12,615円 6／27退学 2年1人 3,625円×3月＝10,875円 6／30転学 C 収納必要額 A-B＝ 23,490円
	5							
	6	1	12,615				12,615	
	7	1	10,875	12,615 10,875	100.0 100.0		0 0	
	8							
	9							
	10							
	11							
	計	2	23,490	23,490	100.0	0	0	
後 期	10							A 期首収納権利発生額＝ B 収納権利増減（▲）＝ C 収納必要額 A-B＝
	11							
	12							
	1							
	2							
	3							
	計	0	0	0		0	0	
合 計	2	23,490	23,490	100.0	0	0	D 収納必要額＝ 23,490 円	

□□□□□□

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
静岡銀行 入野支店	無利息型 普通預金	0321908	静岡県立浜松大平台高等学校 資金前渡者 左口 邦彦	0	給与等振込用
静岡銀行 入野支店	無利息型 普通預金	0321919	(自振口) 静岡県立浜松大平台高等学校 資金前渡者 左口 邦彦	0	公共料金等引落用
静岡銀行 入野支店	無利息型 普通預金	0473252	静岡県立浜松大平台高等学校 代理受領者 左口 邦彦	0	奨学給付金用
残 高 合 計				0	

□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	1円券	0	0	20	20	17	17	3	3	0	0	0	0	3	3	文書送付
	10円券	14	140	100	1,000	21	210	93	930	0	0	10	100	83	830	文書送付
	63円券	16	1,008	0	0	11	693	5	315	0	0	5	315	0	0	文書送付
	84円券	25	2,100	0	0	25	2,100	0	0	0	0	0	0	0	0	文書送付
	85円券	0	0	82	6,970	31	2,635	51	4,335	0	0	13	1,105	38	3,230	文書送付
	110円券	0	0	82	9,020	42	4,620	40	4,400	0	0	14	1,540	26	2,860	文書送付
	120円券	38	4,560	0	0	8	960	30	3,600	0	0	11	1,320	19	2,280	文書送付
	180円券	0	0	20	3,600	2	360	18	3,240	0	0	5	900	13	2,340	文書送付
210円券	23	4,830	0	0	17	3,570	6	1,260	0	0	1	210	5	1,050	文書送付	
計			12,638		20,610		15,165		18,083		0		5,490		12,593	

□□□□□□

材 料 品 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

区分 品名	令和6年度						令和7年度						差引現在高		摘 要
	繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額	
苺	kg 0.0	0	kg 420.0	399,600	kg 420.0	399,600	kg 0.0	0	kg 420.0	431,460	kg 120.0	136,080	kg 300	295,380	苺ジャム用
ジャム瓶	個 0	0	個 1,512	98,960	個 1,512	98,960	個 0	0	個 792	53,578	個 432	29,224	個 360	24,354	〃
ジャム瓶用 キャップ	個 0	0	個 1,512	42,412	個 1,512	42,412	個 0	0	個 792	22,825	個 432	12,448	個 360	10,377	〃
砂糖	kg 0.0	0	kg 240.0	61,688	kg 240.0	61,688	kg 0.0	0	kg 120.0	31,492	kg 68.0	17,844	kg 52.0	13,648	〃
クエン酸	g 0.0	0	g 500.0	1,620	g 500.0	1,620	g 0.0	0	g 500.0	1,296	g 140.0	360	g 360.0	936	〃
キャップシール	枚 0	0	枚 1,512	14,131	枚 1,512	14,131	枚 0	0	枚 2,160	27,126	枚 432	5,266	枚 1,728	21,860	〃
ラベル	枚 0	0	枚 1,512	7,979	枚 1,512	7,979	枚 0	0	枚 3,216	37,440	枚 432	3,752	枚 2,784	33,688	〃
ペチュニア苗	鉢 0	0	鉢 159	52,470	鉢 159	52,470	鉢 0	0	鉢 159	52,470	鉢 159	52,470	鉢 0	0	県庁窓辺の花用
培養土	袋 0	0	袋 10	5,800	袋 10	5,800	袋 0	0	袋 10	5,800	袋 10	5,800	袋 0	0	〃
大粒化成	袋 0	0	袋 2	9,000	袋 2	9,000	袋 0	0	袋 2	9,000	袋 2	9,000	袋 0	0	〃
赤玉土	袋 0	0	袋 11	3,960	袋 11	3,960	袋 0	0	袋 11	3,960	袋 11	3,960	袋 0	0	〃
腐葉土	袋 0	0	袋 11	10,780	袋 11	10,780	袋 0	0	袋 11	10,780	袋 11	10,780	袋 0	0	〃
AGソフトマグ	袋 0	0	袋 2	1,300	袋 2	1,300	袋 0	0	袋 2	1,300	袋 2	1,300	袋 0	0	〃
もみがらくん炭	袋 0	0	袋 3	4,140	袋 3	4,140	袋 0	0	袋 3	4,140	袋 3	4,140	袋 0	0	〃
合計		0		713,840		713,840		0		692,667		292,424		400,243	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	教育費	教育委員会費	教 育 管 理 費		1,405,470	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,647,342	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		520,640	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		728,104	
計					5,106,395	5,301,556	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教 育 管 理 費		0	
計					1,716,000	0	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高校学校管理費		1,930,500	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		9,592,000	
計					593,560	11,522,500	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		61,601,448	
計					60,978,227	61,601,448	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	教育費	教育委員会費	教 育 管 理 費	364,650	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	677,519	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	145,980	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	192,192	0
計					1,380,341	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	206,140	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					206,140	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	159,095	0
計					159,095	0

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	契約金額				契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
			当初設計金額	当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 夜間定時制 高等学校 校舎等管理 業務委託	東海美装 興業㈱	円 1,048,905	円 1,048,905	円 -6,435	円 1,042,470	指名	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 7.3.14 7.1.31 7.2.28 7.3.31 小計	円 64,350 128,700 122,265 109,395 12,870 64,350 115,830 109,395 96,525 109,395 109,395 1,042,470	校舎等管理業務 (解錠業務 AM6:45~7:45) (施錠業務 PM7:50~9:20)		
2	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検(防火設備 に限る)業務 委託	㈱日本防火 研究所	371,360	363,000	0	363,000	随契	6.10.21 7.2.28	7.2.14	363,000	建築基準法第12条 に基づく防火設備 (制御盤、感知器、 防火扉、防火シャッター、 耐火クロススクリーン) 定期点検業務	随契1号 (少額)
3	可燃物収集 運搬処分業 務委託	環境保全㈱	収集運搬料 1校1回 880.00円 処分手数料 1kg 13.20円	収集運搬料 1校1回 715.00円 処分手数料 1kg 13.20円	0	収集運搬料 1校1回 715.00円 処分手数料 1kg 13.20円	指名	6.4.8 7.3.31	6.5.28 6.6.21 6.7.23 6.8.30 6.9.30 6.10.23 6.11.29 6.12.24 7.1.28 7.2.26 7.3.31 7.4.17 小計	288,360 313,852 306,578 311,212 189,882 294,560 325,474 312,558 299,402 302,383 275,675 322,786 3,542,722	可燃ごみの収集運 搬及び処分業務 (業務対象校) 浜松大平台高校、 浜松北高校、浜松 西高校、浜松南高 校、浜松湖東高校、 浜松湖南高校、 浜松江之島高校、 浜松工業高校、 浜松城北工業高校、 浜松商業高校、 浜松東高校、浜松 視覚特別支援学校、 浜松聴覚特別支援 学校、浜松特別 支援学校、西部 特別支援学校	単価契約
4	産業廃棄物 収集運搬及 び処分業 務委託	ジャパン ウェイスト ㈱	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.7.19 6.12.27	6.9.24	99,000	産業廃棄物(廃試 薬)の収集運搬及 び処分業務 (廃酸等 20,000mL)	随契1号 (少額)
5	産業廃棄物 収集運搬及 び処分業 務委託	㈱ホクセイ	51,964	51,964	0	51,964	随契	6.10.21 7.3.31	7.1.17	51,964	産業廃棄物(廃蛍 光管、廃水銀灯 球)の収集運搬及 び処分業務 (廃蛍光管78kg、 廃水銀灯球9kg)	随契1号 (少額)
6	産業廃棄物 収集運搬及 び処分業 務委託	ジャパン ウェイスト ㈱	99,000	99,000	0	99,000	随契	6.11.14 7.3.31	7.1.21	99,000	産業廃棄物(廃試 薬)の収集運搬及 び処分業務 (廃油等2500mL)	随契1号 (少額)
7	産業廃棄物 収集運搬及 び処分業 務委託	㈱リサイクル クリーン	51,700	51,700	0	51,700	随契	6.11.13 7.3.31	7.1.29	51,700	産業廃棄物(廃プ ラッシュ類、紙く ず、木くず、繊維 くず、金属くず、ガ ラスくず、コンクリ ートくず及び陶磁 器くず等)の収集 運搬及び処分業 務 (コンテナ3.5m ³ 1台)	随契1号 (少額)
8	産業廃棄物 収集運搬及 び処分業 務委託	㈱リサイクル クリーン	51,700	51,700	0	51,700	随契	7.1.20 7.3.31	7.4.9	51,700	産業廃棄物(廃プ ラッシュ類、紙く ず、木くず、繊維 くず、金属くず、ガ ラスくず、コンクリ ートくず及び陶磁 器くず等)の収集 運搬及び処分業 務 (コンテナ3.5m ³ 1台)	随契1号 (少額)
	合計	8件								5,301,556		

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 夜間定時制 高等学校 校舎等管理 業務委託	東海美装 興業(株)	円 1,144,000	円 1,144,000	円 0	円 1,144,000	指名	7.4.14) 8.3.13	7.5.30 7.6.30 7.7.31 小計	円 78,650 143,000 143,000 364,650	校舎等管理業務 (解錠業務 AM 6:45~7:45) (施錠業務 PM 7:50~9:20)	
2	可燃物収集 運搬処分 業務委託	環境保全(株)	収集運搬料 1校1回 880.00円 処分手数料 1kg 13.20円	収集運搬料 1校1回 770.00円 処分手数料 1kg 13.20円	0	収集運搬料 1校1回 770.00円 処分手数料 1kg 13.20円	指名	7.4.7) 8.3.31	7.5.30 7.6.20 7.7.22 小計	291,416 307,098 318,177 916,691	可燃ごみの収集運 搬及び処分業務 (業務対象校) 浜松大平台高校、 浜松北高校、浜松 西高校、浜松南高 校、浜松湖東高校、 浜松湖南高校、 浜松江之島高校、 浜松工業高校、 浜松城北工業高校、 浜松商業高校、 浜松東高校、浜松 視覚特別支援学校、 浜松聴覚特別支援 学校、浜松特別 支援学校、西部 特 別 支 援 学 校	単価契約
3	産業廃棄物 収集運搬 及び処分 業務委託	ジャパン ウエイスト (株)	99,000	99,000	0	99,000	随契	7.5.12) 7.12.26	7.7.15	99,000	産業廃棄物(廃試 薬)の収集運搬及 び処分業務 (廃油等900mL、汚 泥180g)	随契1号 (少額)
合 計										1,380,341		

□□□□□

補 助 金

整理 番号	対象事業名	交付先	補助の 根拠	事業の実績	総事業費	補助金額
1	高等学校定時制課程及び通信制課程 修学補助金	定時制 生徒 5人	高等学校 定時制の 課程及び 通信制の 課程修学 補助金交 付要綱	定時制有職生徒に 対する教科書購入 費の補助 1年 2人 2年 3人 3年 1人	円 37,338	円 37,338
	計	5件	/	/	37,338	37,338

※ 令和7年度は支出なし

支 出 調

(令和6年度)

補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
	年月日	金 額	年月日	金 額	年月日	確認年月日	
県 10/10	7. 1. 20	37, 338 円	7. 1. 31	37, 338 円	6. 12. 19	7. 1. 20	
/	/	37, 338	/	37, 338	/	/	/

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国定時制通信制高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長協会理事長	開催通知	全国定時制通信制高等学校長協会総会・研究協議会参加費	円 1,000	6.4.26
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長	納入通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	4,000	6.4.30
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	2,000	6.7.3
4	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会会長	納入通知	東海地区総合学科高等学校長協会会費	10,000	6.7.5
5	全国単位制高等学校長等連絡研究協議会東京大会参加費	全国単位制高等学校長等連絡研究協議会会長	開催通知	全国単位制高等学校長等連絡研究協議会東京大会参加費	7,000	6.9.6
6	全国定時制通信制高等学校長協会全国研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長協会全国研究協議会会長	開催通知	全国定時制通信制高等学校長協会全国研究協議会参加費	1,000	6.9.25
7	自家用電気工作物保安管理業務委託料負担金	西遠PFIサービス㈱	覚書	自家用電気工作物保安管理業務委託料の学校負担分	126,225	6.10.31 7.1.22 7.4.15
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	47,807,100	6.10.31 6.12.19 7.1.31
9	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	13,557,210	6.10.31 7.1.31 7.2.14 7.3.5 7.3.10
10	学び直し支援金	定時制高等学校授業料	静岡県公立高等学校等学び直し支援金事務処理要領	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	48,575	6.10.31 7.1.31
計		10件			61,564,110	

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長	納入通知	全国定時制通信制高等学校長協会総会・研究協議会参加費	円 4,000	7.4.30
2	全国定時制通信制高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長協会理事長	開催通知	全国定時制通信制高等学校長協会総会・研究協議会参加費	1,000	7.5.2
3	東海地区総合学科高等学校長協会会費	東海地区総合学科高等学校長協会会長	納入通知	東海地区総合学科高等学校長協会会費	10,000	7.7.3
4	学校農業クラブ指導者養成講座参加費	日本学校農業クラブ連盟	開催通知	学校農業クラブ指導者養成講座参加費	3,000	7.7.4
5	東海地区学校図書館研究大会参加費	東海地区学校図書館研究大会運営委員会	開催通知	東海地区学校図書館研究大会参加費	3,000	7.7.15
6	自家用電気工作物保安管理業務委託料負担金	西遠PFIサービス㈱	覚書	自家用電気工作物保安管理業務委託料の学校負担分	42,075	7.7.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	79,200	7.7.4 7.7.16
8	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	16,820	7.7.4
計		8件			159,095	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 4,926,628	/	千円 0	/	千円 72,348	/	千円 4,854,280	
土 地	m ² 64,847.39	3,099,705					m ² 64,847.39	3,099,705	
立 木 竹	本 11	1,382					本 11	1,382	
建 物	m ² 9,875.41 20,429.40	1,767,420				65,783	m ² 9,875.41 20,429.40	1,701,637	
工 作 物	個 79	58,121	4	0		6,565	個 83	51,556	
公有財産に 準ずるもの	/	362	/		/		/	362	
電話加入権	件 8	362					件 8	362	

※ 令和7年度中増減なし

□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区大平台四丁目25番1号			1個	円	円 5,689,039	R3.7.1 ～ R16.6.30	三井住友ファイナンス&リース(株)	普通教室 空調
2	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区大平台四丁目25番1号			1個		2,702,934	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TCリース(株)静岡支店	特別教室等 空調
計						2個		8,391,973			

□□□□□

行 政 財 産 貸 付 ・ 使 用 許 可 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	宅地	学校敷地	支柱 2本 支線 2本	円	円 1,500 6,000	R5.4.1 ～ R10.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信用
2	土地	学校敷地	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	宅地	学校敷地	本柱 8本 支柱 1本 支線 5本		1,500 21,000	R5.4.1 ～ R10.3.31	中部電力パワーグリッド(株)浜松支社 配電建設グループ長	電力供給用
3	建物	事務所建	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	特別教室棟	RC 4F	食堂、売店 324.26㎡		免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	西遠 P F I サービス(株)	食堂、売店設置
4	建物	事務所建	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	特別教室棟	RC 4F	自動販売機 2台 2.0㎡		15,810	R7.4.1 ～ R8.3.31	西遠 P F I サービス(株)	自動販売機設置
5	土地	学校敷地	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	宅地	学校敷地	自動販売機 3台 3.14㎡			R7.4.1 ～ R8.3.31	西遠 P F I サービス(株)	自動販売機設置
6	土地	学校敷地	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	宅地	学校敷地	工作物(看板) 1.35㎡		免除	R4.4.1 ～ R9.3.31	静岡県立浜松大平台高等学校全日制・定時制 P T A 会長	大平台の森看板設置
7	土地	学校敷地	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	宅地	学校敷地	駐車場 12.5㎡		免除	R5.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立浜松大平台高等学校全日制・定時制 P T A 会長	P T A 職員 駐車場
8	建物	事務所建	浜松市中央区大平台四丁目25番1号	特別教室棟	RC 4F	執務場所 3.3㎡			R5.4.1 ～ R8.3.31	静岡県立浜松大平台高等学校全日制・定時制 P T A 会長	P T A 職員 執務場所
合計								42,810			

□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	プレゼンテーション実習装置 ESPRIMO D7010 43台他	商業授業用 年間190日程度使用	R4.2	円 19,690,000
2	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	CADシステム レノボ 22台他	工業授業用 年間190日程度使用	H27.2	11,826,000
3	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	情報基礎実習装置 サーバ1台 HP 43台他	工業授業用 年間190日程度使用	R3.8	9,900,000
4	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	情報応用実習装置 デスクトップ PC HP 21台他	工業等授業用 年間190日程度使用	R7.1	7,920,000
5	7-1	その他の農産用機器	環境測定装置 1式 環境測定装置・ データ処理装置	授業用温室管理用 毎日使用	R3.10	7,150,000
6	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ 富士通 41台他	情報等授業用 年間190日程度使用	H26.2	4,514,387
7	3-3	その他の視覚用 再生用機器	視聴覚システム 松下電器 プロジェクタ他	授業・行事用 年間70日程度使用	H18.3	2,954,000
8	1-13	調理器具	圧力殺菌釜(横型トレイ) サンフートマシナリー HC-VA	食品製造実習用 年間5回程度使用	H18.3	2,920,680
9	1-13	調理器具	ホイロ付デッキオープン マルゼン MBH0-Y42	食品製造実習用 週15時間使用	H18.3	2,658,180
10	1-13	その他の厨房器具	急速冷凍機 オリオン機械 RB121A	食品製造実習用 週2~3時間使用	H18.3	2,500,680
11	3-3	その他の視覚用 再生用機器	演技実習装置 ソニー ビデオカメラ他	授業用 週12時間使用	H18.3	2,488,500
12	7-1	運搬用機器	トラクター 安全フルム方式 YANMAR YT222	農業実習用 週1~2時間使用	R2.3	1,798,500
13	7-1	貯蔵用機器	バキュームシーマー 島津 HC-F	食品製造実習用 年間5回程度使用	H2.8	1,797,350
14	8-2	ボート	ボート 舵手付オートバル 重量艇 桑野造船 H4+X	ボート部活動用 毎日使用	H15.3	1,554,000
15	2-3	その他の再生機器	ビジュアルプレゼンテ ススクリーン PD-200/3500	授業・行事用 年間70日程度使用	H12.3	1,522,500
16	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	3Dレーザースキャナ ローラントディジー	工業授業用 年間190日程度使用	H19.3	1,491,000
17	3-3	その他の投影機	プロジェクター(電子黒板) パイオニア EPD-C504E	授業用 年間190日程度使用	H18.3	1,458,450
18	3-3	その他の投影機	プロジェクター(電子黒板) パイオニア EPD-C504E	授業用 年間190日程度使用	H18.3	1,458,450
19	5-99	試験実験機器	マイクロコンストラク ションキット実習装置 アトウイン PLCトレーニングシステム FX3G-24MR/ES仕様	授業用 年間190日程度使用	R2.3	1,436,050
20	7-1	加工用機器	パルパ(食材裏濾し機) 橋本缶詰 HC-PF	食品製造実習用 年間5回程度使用	H5.10	1,425,000

□□□□□

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名 (単位)	黒米				メロン				ポットマム				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
面積・数量・長さ(ア)		m ²				m ²				m ²				
		300.00	300.00	300.00	0.00	260.00	260.00	130.00	0.00	3.3	3.3	0.0	0.0	
受高	前年度繰越高	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本年度生産高(イ)	60.00	66.00	0.00	6.00	340.00	158.00	156.00	△ 182.00	50.00	50.00	0.00	0.00	
	計	60.00	66.00	0.00	6.00	340.00	158.00	156.00	△ 182.00	50.00	50.00	0.00	0.00	
単位数量(イ/ア)		0.20	0.22	0.00	0.02	1.31	0.61	1.20	△ 0.70	15.15	15.15	0.00	0.00	
同前年比(%) (b-a)/a×100					10.0				△ 53.4				0.0	
払高	売払数量	60.00	66.00	0.00	6.00	340.00	158.00	156.00	△ 182.00	50.00	50.00	0.00	0.00	
	売払金額	円 90,000	円 99,000	円 0	円 9,000	円 498,100	円 199,600	円 192,400	円 △ 298,500	円 7,500	円 7,500	円 0	円 0	
	非売品 数量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	60.00	66.00	0.00	6.00	340.00	158.00	156.00	△ 182.00	50.00	50.00	0.00	0.00	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘要														

区分	品名 (単位)	マリーゴールド				ペゴニア				ペチュニア				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
面積・数量・長さ(ア)		m ²				m ²				m ²				
		6.7	6.7	6.7	0.0	3.3	3.3	2.3	0.0	3.3	6.7	2.3	3.4	
受高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	本年度生産高(イ)	200.00	200.00	200.00	0.00	100.00	100.00	70.00	0.00	100.00	200.00	70.00	100.00	
	計	200.00	200.00	200.00	0.00	100.00	100.00	70.00	0.00	100.00	200.00	70.00	100.00	
単位数量(イ/ア)		29.85	29.85	29.85	0.00	30.30	30.30	30.43	0.00	30.30	29.85	30.43	△ 0.45	
同前年比(%) (b-a)/a×100					0.0				0.0				△ 1.5	
払高	売払数量	200.00	200.00	200.00	0.00	100.00	100.00	70.00	0.00	100.00	200.00	70.00	100.00	
	売払金額	円 10,000	円 10,000	円 10,000	円 0	円 5,000	円 5,000	円 3,500	円 0	円 5,000	円 10,000	円 3,500	円 5,000	
	非売品 数量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	200.00	200.00	200.00	0.00	100.00	100.00	70.00	0.00	100.00	200.00	70.00	100.00	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘要														

□□□□□

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名 (単位)	ペチュニア (ピンク)				アメリカンブルー				パンジー				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
面積・数量・長さ (ア)		m ²				m ²				m ²				
		10.2	10.2	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	10.0	16.7	0.0	6.7	
受 高	前年度繰越高	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	鉢 0.00	
	本年度生産高 (イ)	51.00	51.00	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	0.00	300.00	500.00	0.00	200.00	
	計	51.00	51.00	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	0.00	300.00	500.00	0.00	200.00	
単位数量 (イ/ア)		5.00	5.00	0.00	0.00	30.30	30.30	30.30	0.00	30.00	29.94	0.00	△ 0.06	
同前年比 (%) (b-a)/a×100		/	/	/	0.0	/	/	/	0.0	/	/	/	△ 0.2	
払 高	売払数量	51.00	51.00	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	0.00	300.00	500.00	0.00	200.00	
	売払金額	円 112,200	円 112,200	円 0	円 0	円 10,000	円 5,000	円 10,000	円 △ 5,000	円 15,000	円 25,000	円 0	円 10,000	
	非売品 数 量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	51.00	51.00	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	0.00	300.00	500.00	0.00	200.00	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘 要														

区分	品名 (単位)	シクラメン				ミニシクラメン				日々草				
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	
面積・数量・長さ (ア)		m ²				m ²				m ²				
		10.0	0.0	0.0	△ 10.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	3.3	0.0	△ 3.4	
受 高	前年度繰越高	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	
	本年度生産高 (イ)	100.00	0.00	0.00	△ 100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	200.00	100.00	0.00	△ 100.00	
	計	100.00	0.00	0.00	△ 100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	200.00	100.00	0.00	△ 100.00	
単位数量 (イ/ア)		10.00	0.00	0.00	△ 10.00	14.93	14.93	0.00	0.00	29.85	30.30	0.00	0.45	
同前年比 (%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 100.0	/	/	/	0.0	/	/	/	1.5	
払 高	売払数量	100.00	0.00	0.00	△ 100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	200.00	100.00	0.00	△ 100.00	
	売払金額	円 30,000	円 0	円 0	円 △ 30,000	円 15,000	円 15,000	円 0	円 0	円 10,000	円 5,000	円 0	円 △ 5,000	
	非売品 数 量	分類換	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		管理換その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	100.00	0.00	0.00	△ 100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	200.00	100.00	0.00	△ 100.00	
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
摘 要														

□□□□□

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名 (単位)	コチヨウラン(切花)				コチヨウラン				ポインセチア			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a
面積・数量・長さ(ア)		㎡				㎡				㎡			
		0.0	2.8	0.0	2.8	2.8	0.0	3.3	△ 2.8	0.0	3.3	0.0	3.3
受 高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	鉢	鉢	鉢	鉢	鉢	鉢	鉢	鉢
	本年度生産高(イ)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	0.00	50.00	0.00	50.00	17.00	0.00	20.00	△ 17.00	0.00	50.00	0.00	50.00
単位数量(イ/ア)		0.00	17.86	0.00	17.86	6.07	0.00	6.06	△ 6.07	0.00	15.15	0.00	15.15
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	0.0	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	0.0
払 高	売払数量	0.00	50.00	0.00	50.00	17.00	0.00	20.00	△ 17.00	0.00	50.00	0.00	50.00
	売払金額	円 0	円 21,000	円 0	円 21,000	円 29,700	円 0	円 18,000	円 △ 29,700	円 0	円 10,000	円 0	円 10,000
	非売品 数量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	分類換 管理換その他 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
摘 要													

区分	品名 (単位)	キンギソウ				ジニア				ナス			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a
面積・数量・長さ(ア)		㎡				㎡				㎡			
		0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
受 高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本年度生産高(イ)	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.08	61.79	39.00	11.71
	計	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.08	61.79	39.00	11.71
単位数量(イ/ア)		0.00	0.00	30.30	0.00	0.00	0.00	29.41	0.00	1.00	1.24	0.78	0.24
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	0.0	/	/	/	0.0	/	/	/	24.0
払 高	売払数量	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.08	61.79	39.00	11.71
	売払金額	円 0	円 0	円 5,000	円 0	円 0	円 0	円 2,500	円 0	円 18,900	円 23,600	円 15,500	円 4,700
	非売品 数量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	分類換 管理換その他 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
摘 要													

□□□□□

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名 (単位)	ピーマン				ダイコン				ハクサイ			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a
面積・数量・長さ(ア)		m ²				m ²				m ²			
		50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
受 高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本年度生産高(イ)	24.40	64.05	26.27	39.65	45.50	117.40	0.00	71.90	58.54	95.00	0.00	36.46
	計	24.40	64.05	26.27	39.65	45.50	117.40	0.00	71.90	58.54	95.00	0.00	36.46
単位数量(イ/ア)		0.49	1.28	0.53	0.79	0.91	2.35	0.00	1.44	1.17	1.90	0.00	0.73
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	161.2	/	/	/	158.2	/	/	/	62.4
払 高	売払数量	24.40	64.05	26.27	39.65	45.50	117.40	0.00	71.90	58.54	95.00	0.00	36.46
	売払金額	円 8,000	円 20,400	円 10,200	円 12,400	円 2,500	円 8,550	円 0	円 6,050	円 3,700	円 16,000	円 0	円 12,300
	非売品 数量	分類換 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理換その他 数量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
計		24.40	64.05	26.27	39.65	45.50	117.40	0.00	71.90	58.54	95.00	0.00	36.46
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
摘 要													

区分	品名 (単位)	ニンジン				キャベツ				ブロッコリー			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a
面積・数量・長さ(ア)		m ²				m ²				m ²			
		50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	△ 50.0	50.0	0.0	0.0	△ 50.0
受 高	前年度繰越高	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本年度生産高(イ)	105.53	68.55	0.00	△ 36.98	87.60	0.00	0.00	△ 87.60	45.15	0.00	0.00	△ 45.15
	計	105.53	68.55	0.00	△ 36.98	87.60	0.00	0.00	△ 87.60	45.15	0.00	0.00	△ 45.15
単位数量(イ/ア)		2.11	1.37	0.00	△ 0.74	1.75	0.00	0.00	△ 1.75	0.90	0.00	0.00	△ 0.90
同前年比(%) (b-a)/a×100		/	/	/	△ 35.1	/	/	/	△ 100.0	/	/	/	△ 100.0
払 高	売払数量	105.53	68.55	0.00	△ 36.98	87.60	0.00	0.00	△ 87.60	45.15	0.00	0.00	△ 45.15
	売払金額	円 12,500	円 12,800	円 0	円 300	円 6,040	円 0	円 0	円 △ 6,040	円 12,500	円 0	円 0	円 △ 12,500
	非売品 数量	分類換 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理換その他 数量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
計		105.53	68.55	0.00	△ 36.98	87.60	0.00	0.00	△ 87.60	45.15	0.00	0.00	△ 45.15
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
摘 要													

□□□□□

生産物受払調

(令和7年7月31日現在)

区分	品名 (単位)	ホウレンソウ				梅				ミカン			
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a	5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a
面積・数量・長さ(ア)		㎡				㎡				㎡			
		130.0	130.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	250.00	0.00	0.00	△ 250.00
受 高	前年度繰越高	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.0 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	本年度生産高(イ)	12.60	23.00	0.00	10.40	167.00	130.50	98.00	△ 36.50	74.10	0.00	0.00	△ 74.10
	計	12.60	23.00	0.00	10.40	167.00	130.50	98.00	△ 36.50	74.10	0.00	0.00	△ 74.10
単位数量(イ/ア)		0.10	0.18	0.00	0.08	6.68	5.22	3.92	△ 1.46	0.30	0.00	0.00	△ 0.30
同前年比(%) (b-a)/a×100					80.0				△ 21.9				△ 100.0
払 高	売払数量	12.60	23.00	0.00	10.40	167.00	130.50	98.00	△ 36.50	74.10	0.00	0.00	△ 74.10
	売払金額	円 4,500	円 11,500	円 0	円 7,000	円 32,460	円 26,100	円 36,900	円 △ 6,360	円 15,000	円 0	円 0	円 △ 15,000
	非売品 数量	分類換 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理換その他 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
摘 要													

区分	品名 (単位)	イチゴジャム											
		5年度 a	6年度 b	7年7月 31日現在	差 b-a								
面積・数量・長さ(ア)		kg											
		420.00	420.00	420.00	0.00								
受 高	前年度繰越高	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00								
	本年度生産高(イ)	1,512.00	1,512.00	432.00	0.00								
	計	1,512.00	1,512.00	432.00	0.00								
単位数量(イ/ア)		3.60	3.60	1.03	0.00								
同前年比(%) (b-a)/a×100					0.0								
払 高	売払数量	1,512.00	1,512.00	432.00	0.00								
	売払金額	円 756,000	円 756,000	円 216,000	円 0					円 1,709,600	円 1,398,250	円 523,500	円 △ 310,350
	非売品 数量	分類換 0.00	0.00	0.00	0.00								
	管理換その他 計	0.00	0.00	0.00	0.00								
残高又は繰越数量		0.00	0.00	0.00	0.00								
摘 要													

□□□□□

職 員 調

(全日制)

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	職 名	氏名	事 務 分 担	住 所	勤務年数		摘 要
1	校 長	左口 邦彦		□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
2	副校長	戸田 敬之		□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
3	教 頭	高邑 和樹	保 健 体 育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
4	事務長	浦田 真樹	事 務 総 括	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
5	教 諭	堤 雄史	保 健 体 育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
6	教 諭	鈴木 積	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
7	教 諭	鈴木 啓晋	保 健 体 育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
8	教 諭	中安 寿夫	理 科	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
9	教 諭	宮内 寛子	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
10	教 諭	山下 国浩	商 業 ・ 情 報	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
11	教 諭	鈴木 宏和	農 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
12	教 諭	梶浦 芳子	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
13	教 諭	鈴木 克俊	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
14	教 諭	寺田 勝彦	農 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
15	教 諭	大井 直己	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
16	教 諭	桂 武彦	農 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
17	教 諭	中村 知彦	国 語	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
18	教 諭	山本 哲也	工 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
19	教 諭	荒川 博司	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
20	教 諭	新美 典子	芸 術 (美 術)	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
21	教 諭	鈴木 紀子	商 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
22	教 諭	榊原 英裕	保 健 体 育	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
23	教 諭	堰合 華子	家 庭	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
24	教 諭	秀平 教朗	商 業 ・ 情 報	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
25	教 諭	工藤 一	農 業	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
26	教 諭	大谷 孝行	数 学	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	
27	教 諭	溝本 啓	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年 □ 月	□□□□□	

整理 番号	職 名	氏名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数		摘 要
					年	月	
28	教 諭	山本 のぞみ	芸 術 (美 術)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
29	教 諭	細川 彩	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
30	教 諭	直井 勇人	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
31	教 諭	福永 裕子	数 学	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
32	教 諭	浅川 友加里	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
33	教 諭	都築 和美	商 業	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
34	教 諭	長谷川 梨紗	福 祉	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
35	教 諭	古田 あづみ	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
36	教 諭	鈴木 晴美	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
37	教 諭	鈴木 はる香	家 庭	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
38	教 諭	津ヶ谷 健太	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
39	教 諭	林 高輝	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
40	教 諭	酒井 駿吾	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
41	教 諭	小林 大雅	農 業	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
42	教 諭	山本 尚輝	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
43	教 諭	佐野 陽菜	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
44	教 諭	太田 武	工 業	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
45	教 諭	原田 直宏	工 業 実 習	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
46	教 諭	辻村 雅文	農 業 実 習	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
47	養護教諭	鈴木 優	養 護	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
48	主任実習助手	兼子 加奈江	理 科	□□□	□ 年	□ 月	
49	実習助手	一条 ゆう	農 業	□□□	□ 年	□ 月	
50	主 査	本間 ひとみ	会 計	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
51	主 査	藤井 美奈子	会 計	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
52	主 査	徳田 美穂	庶 務	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□

(定時制)

整理 番号	職 名	氏名	事 務 分 担	住所	勤 務 年 数		摘 要
					年	月	
53	副校長	谷野 公彦		□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
54	教 頭	小林 未紅	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
55	教 頭	袴田 貴満	公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
56	主 幹	粉川 隆弘	事 務 総 括	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
57	教 諭	江間 昭広	数 学	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
58	教 諭	野島 典子	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
59	教 諭	鈴木 素平	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
60	教 諭	鷹野 由美	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
61	教 諭	杉山 正美	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
62	教 諭	横原 淳	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
63	教 諭	辻村 得吉	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
64	教 諭	八角 朗子	家 庭	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
65	教 諭	藤城 信行	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
66	教 諭	佐野 光彦	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
67	教 諭	大久保 隆史	商 業 ・ 情 報	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
68	教 諭	赤堀 和子	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
69	教 諭	松下 清彦	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
70	教 諭	青野 友彦	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
71	教 諭	高柳 勝臣	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
72	教 諭	渡邊 祐司	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
73	教 諭	湯川 珠輝	外 国 語 (英 語)	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
74	教 諭	横井 加奈子	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
75	教 諭	加藤 千恵子	家 庭	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
76	教 諭	白倉 洋亮	数 学	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
77	教 諭	磯部 智子	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
78	教 諭	河内 優子	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
79	教 諭	加茂 博彦	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□

整理 番号	職 名	氏名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数		摘 要
80	教 諭	佐藤 琴美	商業・情報	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
81	教 諭	村瀬 千夏	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
82	教 諭	夏目 奈菜子	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
83	教 諭	袴田 哲靖	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
84	教 諭	塚本 昭彦	数 学	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
85	教 諭	稲垣 祐治	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
86	教 諭	横田 英明	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
87	教 諭	石井 亜矢子	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
88	教 諭	池上 晃祐	商業・情報	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
89	教 諭	久保 愛	家 庭	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
90	教 諭	山崎 英恵	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
91	教 諭	新田 亜矢加	家 庭	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
92	教 諭	西山 飛鳥	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
93	教 諭	鈴木 聖啓	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
94	教 諭	原 每輝	国 語	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
95	教 諭	平 奈那美	保 健 体 育	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
96	教 諭	新垣 直宏	理 科	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
97	教 諭	今村 福太	地 歴 ・ 公 民	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
98	教 諭	山下 真歩	数 学	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
99	養護教諭	平光 浩実	養 護	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
100	養護教諭	福田 桜子	養 護	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
101	主 査	鈴木 憲保	会 計	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
102	主 査	池戸 真一	会 計	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
103	主 事	村木 豪	会 計	□□□	□ 年	□ 月	□□□□□
平 均 年 数					3 年	3 月	

臨時職員・非常勤職員

(全日制)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
					年	月	
1	外国語指導講師	Luo Yingying	外国語 (英語)	□□□	□年	□月	
2	非常勤講師	木下 綾子	芸術 (音楽)	□□□	□年	□月	□□□□□
3	非常勤講師	織田 啓介	芸術 (美術)	□□□	□年	□月	□□□□□
4	非常勤講師	長坂 靖之	数学	□□□	□年	□月	□□□□□
5	非常勤講師	大場 直美	家庭	□□□	□年	□月	□□□□□
6	非常勤講師	大石 義敬	国語	□□□	□年	□月	□□□□□
7	非常勤講師 部活動指導員	笹川 慎一	地歴・公民 バドミントン部	□□□	□年	□月	□□□□□
8	非常勤講師	稲勝 まりあ	外国語 (英語)	□□□	□年	□月	□□□□□
9	非常勤講師	金原 里恵	芸術 (書道)	□□□	□年	□月	□□□□□
10	非常勤講師	大野 正博	情報	□□□	□年	□月	□□□□□
11	非常勤講師	大澄 弘道	工業	□□□	□年	□月	
12	非常勤講師	藤原 頼美	福祉	□□□	□年	□月	□□□□□
13	非常勤講師	野田 由佳里	福祉	□□□	□年	□月	
14	非常勤講師	上野 由紀恵	福祉	□□□	□年	□月	
15	非常勤講師	水野 公智	福祉	□□□	□年	□月	
16	非常勤講師	佐藤 美哉子	福祉	□□□	□年	□月	
17	部活動指導員	松本 尚之	卓球部	□□□	□年	□月	
18	非常勤労務職員	立石 義之	業務	□□□	□年	□月	
19	非常勤労務職員	熊取谷 文男	用務	□□□	□年	□月	
20	非常勤労務職員	近野 清	生産物管理	□□□	□年	□月	
21	非常勤嘱託員	小林 好美	就学支援金	□□□	□年	□月	
22	学校医 健康管理医	戸澤 孝太郎	内科 産業医	□□□	□年	□月	□□□□□
23	学校医	中神 哲司	眼科	□□□	□年	□月	□□□□□
24	学校医	姜 洪仁	耳鼻科	□□□	□年	□月	□□□□□
25	学校歯科医	竹山 雅芳	歯科	□□□	□年	□月	□□□□□
26	学校歯科医	鈴木 真太郎	歯科	□□□	□年	□月	□□□□□
27	学校薬剤師	山中 俊輔	薬剤師	□□□	□年	□月	□□□□□

(定時制)

整理 番号	職 名	氏名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数		摘 要
					年	月	
28	教諭(臨時)	中谷 浩	商業・情報	□□□	□年	□月	□□□□□
29	非常勤講師	片山 祐子	国 語	□□□	□年	□月	□□□□□
30	非常勤講師	池本 弘人	地歴・公民	□□□	□年	□月	□□□□□
31	非常勤講師	外山 雅彦	地歴・公民	□□□	□年	□月	□□□□□
32	非常勤講師	関 啓人	理 科	□□□	□年	□月	□□□□□
33	非常勤講師 部活動指導員	西野 之規	保健体育 野球部	□□□	□年	□月	□□□□□
34	非常勤講師	佐藤 誠	保健体育	□□□	□年	□月	□□□□□
35	非常勤講師	中津川 智弓	芸 術 (美 術)	□□□	□年	□月	□□□□□
36	非常勤講師	袴田 早百合	芸 術 (工 芸)	□□□	□年	□月	□□□□□
37	非常勤講師	菅沼 秀介	芸 術 (書 道)	□□□	□年	□月	□□□□□
38	非常勤講師	柳澤 照美	外 国 語 (ホルトカール語)	□□□	□年	□月	
39	非常勤講師	渥美 意子	家 庭	□□□	□年	□月	□□□□□
40	非常勤講師	佐藤 似子	福 祉	□□□	□年	□月	□□□□□
41	非常勤講師	田頭 郁子	福 祉	□□□	□年	□月	□□□□□
42	非常勤講師	絹村 和美	日 本 語	□□□	□年	□月	□□□□□
43	非常勤講師	熊谷 文昭	演 技 表 現	□□□	□年	□月	□□□□□
44	非常勤講師	鈴木 佳子	自 立 活 動	□□□	□年	□月	□□□□□
45	非常勤講師	藤田 則吉	自 立 活 動	□□□	□年	□月	□□□□□
46	スクールカウンセラー	布施 朋子		□□□	□年	□月	□□□□□
47	スクールカウンセラー	野島 陽子		□□□	□年	□月	□□□□□
48	スクールソーシャルワーカー	夏目 由起子		□□□	□年	□月	□□□□□
49	スクールソーシャルワーカー	長坂 聖子		□□□	□年	□月	□□□□□

□□□□□□□

職員の年齢調

(全日制)

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	6 人	
30歳以上40歳未満	10 人	
40歳以上50歳未満	9 人	
50歳以上56歳未満	6 人	
56歳以上61歳未満	10 人	
61歳以上	11 人	再任用職員11人
計	52 人	平均年齢 47.9歳

(定時制)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	6 人	
30歳以上40歳未満	13 人	
40歳以上50歳未満	6 人	
50歳以上56歳未満	5 人	
56歳以上61歳未満	10 人	
61歳以上	11 人	再任用職員11人
計	51 人	平均年齢 47.1歳

総 計	103 人	平均年齢 47.5歳
-----	-------	------------

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 103 人 職員数 105 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

□□□□□

□□□□□

- (注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。
 2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	34(31)人
D 2		要経過観察	27(27)人
D 3		医 療 不 要	35(35)人
区 分 者 計			96(93)人
未区分者数			7(3)人
合 計			103人

(1) 管理区分A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

- ア 産休・育休 □人
- イ 新規採用 □人
- ウ 自己都合による未受診 人
- エ その他 (記録なし) 人